

令和 7 年度使用中学校教科用図書

調査報告書

北九州教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

目 次

1	国語科（書写を含む）		1
2	社会科（地図を含む）		1 0
3	数 学 科		3 2
4	理 科		4 0
5	音 楽 科		4 6
6	美 術 科		5 1
7	保健体育科		5 5
8	技術・家庭科		6 0
9	外国語（英語）科		6 7
1 0	道 徳 科		7 4

参考 令和 7 年度使用中学校教科用図書見本本（発行者・種目別）一覧

国語科

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
国語	2 東書	002-72 002-82 002-92	新編 新しい国語

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえて適切に編集されており、生徒の発達段階に適応している。 ○ 生徒の発達段階に即していて、適切な内容になっている。
2 内 容 の 取 扱 い	○ 「話すこと・聞くこと」については、具体的なポイントを例示し、「言葉の力」で基礎の確認ができる内容になっている。 ○ 「書くこと」については、書くことが苦手な生徒も取り組みやすいグループ活動を導入する工夫がされ、生徒が自主的に取り組める内容になっている。 ○ 「読むこと」については、現代的な作品や、以前から取り上げられてきた作品をバランスよく取り扱っている。 ○ 古典の学習において、「古典コラム」に各古文の特徴を分かりやすく整理する等、生徒の興味・関心と分かりやすさに配慮した内容になっている。
3 内 容 に 関 す る 配 慮 事 項	○ 教材ごとの「言葉の力」の部分に、普遍的なねらいが示され、様々な言語活動の場面で生かせるように配慮されている。 ○ 節目ごとに「読書への招待」の教材を配置し、生徒の読書活動を推進できるように配慮されている。
4 分 量	○ 年間の授業時数に応じた内容が配分されている。 ○ 古典作品は、各学年3作品ずつ掲載されており、文学的文章や説明的文章との調和がとれている。
5 使 用 上 の 便 宜	○ 他教科との関連が分かるように、「教科関連マーク」が配置されている。 ○ 巻末で主なデジタルコンテンツの内容を紹介するとともに、「デジタルコンテンツ一覧」と、二次元コードが配置されている。 ○ 折り込みに、資料として絵巻や図版が配置されている。
6 印 刷 ・ 製 本 等	○ 表紙は、環境に配慮したコーティングがされており、紙質や製本が堅牢で適切である。 ○ 文字の大きさや字体、行間が適切である。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
国語	15 三省堂	015-72 015-82 015-92	現代の国語

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえて適切に編集されており、生徒の発達段階に適応している。 ○ 各学年とも、目標達成に結びつく内容になっている。
2 内容の取扱い	○ 「話すこと・聞くこと」については、目的や場面に応じて適切に話したり、話の内容を聞いて考えをまとめたりする能力を、他の観点と関連付けて育成できる内容になっている。 ○ 「書くこと」については、目的や意図に応じて適切に書く能力を育成する内容になっている。 ○ 「読むこと」については、多様な文章を配列し、各教材に適した読みの手立てを示すことで、学習した読み方を他の教材や学習で活用できるような内容になっている。 ○ 情報リテラシーを高める単元設定や「思考の方法」と位置づけた思考ツールの提示等、自分の考えを作り、深める教材を取り扱っている。
3 内容に関する配慮事項	○ 巻頭に「領域別教材一覧」を示してつきたい力を明確にし、見通しをもって主体的に学ぶことができるように配慮されている。 ○ 読書教材として幅広く作品を取り上げ、作家の読書体験を示す等、生徒の興味・関心を生かして自発的な学習が促されるように配慮されている。
4 分量	○ 年間の授業時数に応じた内容が配分されている。 ○ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれている。
5 使用上の便宜	○ 各学年のはじめに、基本となる「読み方」に焦点化して学習する「プレ教材」が配置されている。 ○ 「防災教育」や「キャリア教育」、「SDGs」など今日的な課題に対応できるような発展的な教材が配置されている。 ○ 基礎基本のデジタルドリルや学習の参考となる多様な資料、作文例、解説動画等の二次元コードが配置されている。
6 印刷・製本等	○ 色の濃淡や野線の使い分け等適切である。 ○ 文字の大きさや字体を適宜使い分けており、字間・行間は適切である。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
国語	17 教出	017-72 017-82 017-92	伝え合う言葉 中学国語

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえて適切に編集されており、生徒の発達段階に適応している。 ○ 各学年とも、目標達成に結びつく内容になっている。
2 内容の取扱い	○ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」については、学習活動の流れを確認した後に生徒の文例があり、学習活動のポイントと対応させることで、活用しやすい内容になっている。 ○ 「読むこと」については、教材を読み深めていくための視点である「学びナビ」が示されていることで見通しを持って学習でき、また、最後に「みちしるべ」が示され、生徒が自分の力で読み深め、伝え合うことができる内容になっている。 ○ 「我が国の言語文化に関する事項」については、小学校での古典学習を踏まえ、古典の代表作が取り上げられているとともに、作品の歴史的背景に触れる解説や視覚資料が充実した内容になっている。 ○ SDGs を踏まえた今日的な課題を取り上げる等、社会生活での活用を見通した内容になっている。
3 内容に関する配慮事項	○ 文字とイラストのバランス、マークの統一など、内容を把握しやすいように配慮されている。 ○ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材、「読むこと」の説明的文章の教材では、巻末に一覧が示されており、個々の教材と関連付けて学びを深めることができるように配慮されている。
4 分量	○ 年間の授業時数に応じた内容が配分されている。 ○ 各分野、領域及び内容に偏りがなく、調和がとれている。
5 使用上の便宜	○ 巻頭に「領域別教材一覧」を配置し、各教材において習得させたい力が明示されている。 ○ 内容理解を支えるために、挿絵や図版が適所に配置されている。 ○ 補助教材を閲覧できるように、二次元コードが随所に配置されている。
6 印刷・製本等	○ 印刷は鮮明で、文字の大きさ、字体、行間が適切である。 ○ UDフォントやデジタル機器で表示した際の視認性が向上した書体が採用されており、適切である。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
国語	3 8 光村	038-72 038-82 038-92	国語

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえて適切に編集されており、生徒の発達段階に適應している。 ○ 各学年とも、目標達成に結びつく内容になっている。
2 内 容 の 取 扱 い	○ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」については、ICTの活用や情報活用能力、SDGs 等との関連を持たせた内容を取り扱っている。 ○ 「読むこと」については、長年読み継がれてきた作品とともに、現代作家の作品を取り上げる等、幅広い文学的文章を取り扱っている。 ○ 「読書」については、「広がる読書」として、学習教材と関連付けて他の本を紹介したり、読書に関する特設教材を取り上げたりすることで読書意欲を高めるような内容になっている。 ○ 今日的な課題を多く取り上げることで他教科との関連をもたせる等、教科横断的な視点で学習できる内容になっている。
3 内 容 に 関 する 配 慮 事 項	○ 巻頭に「学習の見通しをもとう」が提示されており、各領域や他教科との関連が分かるよう配慮されている。 ○ 人権教育や多様性の観点に立って、教材や学習活動が設定されている。
4 分 量	○ 年間の授業時数に応じた内容が配分されている。 ○ 各分野、領域及び内容に偏りがなく、調和がとれている。
5 使 用 上 の 便 宜	○ デジタルコンテンツの効果的な活用のために、二次元コードが配置されている。 ○ 学習を通して身に付ける力や文章の内容を理解するためのポイントが明示されている。 ○ 語彙力を伸ばすための資料が「語彙ブック」として巻末に配置されている。
6 印 刷 ・ 製 本 等	○ 印刷が鮮明で、UD フォントが使用され、行間も適切である。 ○ 表紙が堅牢であるとともに、紙質や製本が適切である。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
書写	2 東書	002-72	新編 新しい書写 一・二・三年

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の内容を踏まえて適切に編集されており、生徒の発達段階に適応している。 ○ 小学校での既習事項を踏まえるとともに、各学年の指導目標の達成につながる内容になっている。
2 内容の取扱い	○ 書写の学習を生活に役立てるため、生活に身近な題材例を取り扱っている。 ○ 文字を整えて書くための汎用的なポイントを、各単元に1事項ずつ焦点化して取り扱っている。 ○ 各単元で目標と振り返りを設定し、生徒自身が学習のねらいを意識し、何を身につけたか振り返られる内容になっている。 ○ 学年ごとに学習のまとめやテストが掲載されており、身につけた知識・技能の定着を図る内容になっている。
3 内容に関する配慮事項	○ 書体や配色の工夫、左利きの生徒用の二次元コードによるデジタルコンテンツ（動画）など、全ての生徒が学びやすくなるよう配慮されている。 ○ 紙面上の色の数や文字量を抑制し、生徒の集中力を妨げないように配慮されている。
4 分量	○ 各学年で求められる資質・能力を身につけられるような単元・教材が配分されている。 ○ 配当時間の少ない3年生においては、短時間で指導可能な単元・教材が配分されている。
5 使用上の便宜	○ 他教科と関連のある単元・教材には、教科関連マークが示されている。 ○ 言語活動については、SDGsにつながる題材が示されている。 ○ 小学校から中学校への移行がスムーズに行えるよう、1年生の冒頭に、小学校書写の学習内容を確認するページが配置されている。
6 印刷・製本等	○ 半紙と縦横比が同比率になるよう製本されており、拡大して使用するのに適切である。 ○ 開きやすく書き込みがしやすいように、中綴じで製本されており、適切である。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
書写	15 三省堂	015-72	現代の書写一・二・三

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の内容を踏まえて適切に編集されており、生徒の発達段階に適切している。 ○ 小学校書写、中学校書写、高等学校芸術科書道の校種間で円滑に接続が図れる内容になっている。
2 内容の取扱い	○ 教材冒頭で、書き方のポイントを具体的な字形例とともに提示することで、習得すべき書き方のコツを明確に捉えられる内容になっている。 ○ 学習した内容を、多様な場面で活用する力をつけられる内容になっている。 ○ 毛筆の学習後、硬筆で繰り返し書いて習得することで、普段の自分の書字に生かすことができる内容になっている。 ○ 身のまわりの文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書くことの必要性について考えることができる内容になっている。
3 内容に関する配慮事項	○ 巻末に資料編が設けられており、社会生活で役立つ知識や文字文化への理解を深められるよう、配慮されている。 ○ 学年ごとに「学力テスト問題」が設置されており、学んだ知識の定着を図るよう配慮されている。
4 分量	○ 年間の授業時数に応じた内容が配分されている。 ○ 各学年とも、毛筆・硬筆の調和がとれている。
5 使用上の便宜	○ 毛筆の学習教材が見開き2ページで構成されており、学習目標と振り返りが明示されている。 ○ 解説動画、補助教材、参考資料などを二次元コード一覧表で示している。 ○ UDに配慮し、形や記号、説明文などの補助的な手がかりを示している。
6 印刷・製本等	○ 3年間の使用に耐えられるように、針金で3箇所を綴じる製本になっており、適切である。 ○ 表紙を撥水加工にするなど、墨の汚れに対応できるような加工がされており、適切である。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
書写	17 教出	017-72	中学書写

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえて適切に編集されており、生徒の発達段階に適合している。 ○ 小学校との円滑な接続を図り、各学年の指導目標の達成につながる内容になっている。
2 内 容 の 取 扱 い	○ 目標の設定から始まり、「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」という学習過程が明確に示されていることで、主体的な学びを促すとともに、基礎・基本の定着を図る内容になっている。 ○ 「試し書き」「まとめ書きと応用」で、毛筆の学びを硬筆で応用できるように工夫されており、各教科の書く活動や実社会での書く場面に関連させることで、日常で活用できる書写力を育む内容になっている。 ○ 書写で身につけた力を言語活動で生かすことができるよう、国語の教科書と連携しやすい内容になっている。 ○ 多様な文字文化に接することができるよう、幅広いテーマのコラムなど、多角的な視点での資料を含んだ内容になっている。
3 内 容 に 関 す る 配 慮 事 項	○ 自分で考えた後に、話し合い活動を取り入れることで、主体的・対話的な学びができるよう配慮されている。 ○ 特別支援、日本語指導を必要とする生徒、左利き等に配慮するとともに、さらに学びを深めたい生徒のために二次元コードによるデジタルコンテンツ（補助教材動画）を収録するなど配慮されている。
4 分 量	○ 年間の授業時数に応じた内容が配分されている。 ○ 毛筆の学びを硬筆の筆使いや字形につなげることで、毛筆と硬筆の課題の調和がとれている。
5 使 用 上 の 便 宜	○ 生徒が授業に見通しをもって参加することができるよう、毎時間の学習の進め方が明示されている。 ○ 「生かそう」では学習したことを日常生活で生かせるよう、具体的な場面が写真で明示されている。 ○ お手本が、見開きで半紙形にレイアウトされており、中心線や書き始めの位置を示すことで、字形が確認できるようになっている。
6 印 刷 ・ 製 本 等	○ 文字、図、写真等の印刷が鮮明であるとともに、強度を保つため表紙は撥水加工が施されるなど、製本は適切である。 ○ 墨色や鉛筆の特色が表れる印刷技術が用いられている。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
書写	38 光村	038-72	中学書写 一・二・三年

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえて適切に編集されており、生徒の発達段階に適応している。 ○ 小学校での既習事項を踏まえるとともに、各学年の指導目標の達成につながる内容になっている。
2 内容の取扱い	○ 全教材に「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という3段階の学習の進め方を示し、生徒が見通しをもって主体的に学ぶことができる内容になっている。 ○ 新たに学習する「行書」について、ポイントを「行書スイッチ」としてまとめ、二次元コードを配することで視覚的に理解を促す内容になっている。 ○ 「書き初めマスターブック」の他、我が国の文字文化の豊かさに触れ、理解や関心を高める多様な教材を取り扱うとともに、今日的課題（SDGs や防災教育等）に対応した内容になっている。 ○ 毛筆と硬筆とを関連付け、国語の教科書と連携した教材を全学年に設定することで、書写で身につけた力を他教科や学校生活で生かすことができる内容になっている。
3 内容に関する配慮事項	○ 教科書に完全準拠した硬筆練習帳を別冊で設け、学習内容の定着を促し、また、学びを日常に生かせるよう配慮されている。 ○ 支援を必要とする生徒に対し、紙面上の色の数や文字量を抑制したり、多様性に対応した内容を取り入れたりしている。
4 分量	○ 年間の授業時数に応じた内容が配分されている。 ○ 楷書から行書への移行、毛筆と硬筆の課題に偏りがなく、調和がとれている。
5 使用上の便宜	○ 各ページに二次元コード（動画や資料）が配置されている。 ○ 小学校から高等学校芸術科書道まで接続を図ることができる内容になっている。 ○ 巻末部分には日常に役立つ教材が記載されている。
6 印刷・製本等	○ 印刷は鮮明で、正確な色調、紙質、強度、文字の大きさ、字体等、適切である。 ○ 長期の使用に耐える造本で、表紙は撥水加工が施され、製本が適切である。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

社 会 科

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
社会 (地理的分野)	2 東書	地理 002-72	新編 新しい社会 地理

項目	調査の結果
1 内容の範囲 及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、社会科の目標達成に結びつく内容であり、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に即している。
2 内容の取扱い	○ 冒頭の「地理を学ぶ5つのミカタ」コーナーで地理的な見方・考え方を例示するとともに、学習の導入場面などに「地理のミカタ」コーナーを設け、どのような見方・考え方を働かせながら学習を進めていくのか分かるように工夫されている。 ○ 単元を貫く探究課題を各単元で設定するとともに、課題解決への見通しを持って学習に取り組めるように、単元の見通しをもたせるコーナーが設けられている。 ○ 多様な思考ツールが使用できるようになっており、個別最適な学びの視点から、生徒各自の方法で思考を整理できるように工夫されている。
3 内容に関する 配慮事項	○ 「スキル・アップ」コーナーが設けられており、地理的な見方・考え方を働かせる上で必要な技能を習得できるように配慮されている。 ○ 「みんなでチャレンジ」コーナーが数多く設けられており、他者の意見を取り入れて自身の考えを深め、再構築することで、思考力・判断力・表現力を養うことができるように配慮されている。
4 分量	○ 全体の分量は授業時数から見て適切である。 ○ 学習内容に偏りがなく、調和がとれている。
5 使用上の便宜	○ 各節での学習課題に対して課題解決への探究活動を進めやすくするために、探究の視点が明示されている。 ○ 歴史的分野や公民的分野、他教科、小学校での学習内容との関連を示すマークが付されている。
6 印刷・製本等	○ 印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料など適切である。
7 その他特記事項	○ 二次元コードが掲載されており、学習内容に関連するデジタルコンテンツが閲覧できるようになっている。

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
社会 (地理的分野)	17 教出	地理 017-72	中学社会 地理 地域にまなぶ

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、社会科の目標達成に結びつく内容であり、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に即している。
2 内 容 の 取 扱 い	○ 「章を見通した学習課題」が各章で設定されており、社会的な見方・考え方を働かせながら課題解決的に学習を進められるように構成されている。 ○ 各章や節の最後の「学習のまとめと表現」のページは、基礎的・基本的事項を定着させるとともに、学びを深めることができる問題（課題）で構成されている。 ○ 「確認!」「表現!」のコーナーが設定されており、学習課題に対応して基礎的事項を確認したり、学習したことをもとに表現活動等をしたりする場を設定することで、深い学びにつながるようなことができるようになっている。
3 内 容 に 関 す る 配 慮 事 項	○ 世界地誌ではSDGsの開発目標と関連する課題を扱うとともに、特設ページ「クロスロード」を設けて、持続可能な社会の実現の観点から、社会的事象を多面的・多角的に考察できるよう配慮されている。 ○ 学習コラム「地理の窓」コーナーを設けることで、学習内容を深めるとともに、生徒の興味・関心を高められるように配慮されている。
4 分 量	○ 全体の分量は授業時数から見て適切である。 ○ 学習内容に偏りがなく、調和がとれている。
5 使 用 上 の 便 宜	○ 歴史的分野・公民的分野との関連が図りやすいように、見開き右ページ下に「関連」マークが示されている。 ○ 「見方・考え方」を働かせた学びを生徒に意識づけるように、各編や章の扉ページに「地理的な見方・考え方」を示している。
6 印 刷 ・ 製 本 等	○ 印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料など適切である。
7 その他特記事項	○ 二次元コードが掲載されており、学習内容に関するデジタルコンテンツが閲覧できるようになっている。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
社会 (地理的分野)	46 帝国	地理 046-72	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土

項目	調査の結果
1 内容の範囲 及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、社会科の目標達成に結びつく内容であり、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に即している。
2 内容の取扱い	○ 比較や位置関係の把握などの地理的な見方・考え方を働かせることができる地図・資料等を掲載している。また、世界の諸地域と日本の諸地域の導入部では「写真で眺める」のページが設定されており、地域的特色を概観できるよう工夫されている。 ○ 単元を貫く問いを踏まえた学習課題を各見開きに設置し、学習の見通し・振り返りがしやすいように構成されている。また、「確認しよう」「説明しよう」のコーナーで知識の確実な定着と思考力、判断力、表現力の育成が図れるようになっている。 ○ 単元の最後には、「学習を振り返ろう」のコーナーが設けられており、白地図を用いた知識・技能の確認と、思考ツールを用いた学習内容の整理を行い、「節の問い」に対する自らの考えをまとめられるようになっている。
3 内容に関する 配慮事項	○ SDGsに関わる取組を豊富に掲載することで、持続可能な社会の実現に向けて主体的に取り組む態度を育成できるように配慮されている。 ○ 世界の諸地域では、歴史・文化を取り扱うページで地域により異なる暮らしぶりを、日本の諸地域では、地方ごとの「注目する視点」と関連深い地理的事象を、それぞれ取り上げることで、地域的特色を確実に理解できるよう配慮されている。
4 分量	○ 全体の分量は授業時数から見て、適切である。 ○ 学習内容に偏りがなく、調和がとれている。
5 使用上の便宜	○ コラム「未来に向けて」を設置し、歴史的分野・公民的分野と直結するテーマから未来の社会をつくる人々の取組を紹介する内容となっている。 ○ 日本の諸地域では、各地方の導入部にイラスト地図を掲載し、各地域の特色を端的に捉えられるようになっている。
6 印刷・製本等	○ 印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料など適切である。
7 その他特記事項	○ 二次元コードが掲載されており、学習内容に関連するデジタルコンテンツが閲覧できるようになっている。

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
社会 (地理的分野)	116 日文	地理 116-72	中学社会 地理的分野

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、社会科の目標達成に結びつく内容であり、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に即している。
2 内 容 の 取 扱 い	○ 地域の概要をつかみ、単元を貫く問いを立て、学習課題を追究することで問いを解決できる構成になっている。また、思考ツールを活用して問いに対する考えをまとめ、学びを振り返る構成になっている。 ○ 学習課題解決に向けた手掛かりとなる「見方・考え方」が示されている。また、学習課題に対応した「確認」や「表現」のコーナーが設けてあり、「確認」において知識・技能、「表現」において思考力・判断力・表現力の定着が図れるよう工夫されている。 ○ 様々なトピックで現代的な諸課題や伝統・文化、多様性などについて具体的な事例を取り上げることで、生徒の興味・関心を高めるとともに、多様な地理的事象に対する理解を深めることができるよう工夫されている。
3 内 容 に 関 す る 配 慮 事 項	○ 多数の写真、地図、グラフ等から各地域の姿が具体的に分かりやすく見ることができるよう配慮されている。 ○ SDGsに関連する内容を各所に掲載し、教科書全体を通して持続可能な社会について考えられるよう工夫されている。
4 分 量	○ 全体の分量は授業時数から見て、適切である。 ○ 学習内容に偏りがなく、調和がとれている。
5 使 用 上 の 便 宜	○ 地理学習の基盤となる地理的技能を身に付けるコーナーが設けられている。 ○ 連携コーナーを設け、小学校の学習や公民的分野・歴史的分野とのつながりが示されている。
6 印 刷 ・ 製 本 等	○ 印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料など適切である。
7 その他特記事項	○ 二次元コードが掲載されており、学習内容に関連するデジタルコンテンツが閲覧できるようになっている。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
社会 (歴史的分野)	2 東書	歴史 002-72	新編 新しい社会 歴史

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、社会科の目標達成に結びつく内容であり、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に即している。
2 内容の取扱い	○ 各時代ごとに、学習の動機付けや見通しの方向付けを行う「導入部」、歴史的な見方・考え方を働かせながら多面的・多角的に考察する「展開部」、学んだことを振り返り、思考・判断したことを自分の言葉で説明したり議論したりする「まとめ」の構成になっている。 ○ 歴史的な見方・考え方を働かせる問いが各章の導入部とまとめに設定され、各時代の特色を整理しやすいように工夫されている。 ○ 主体的に学びに向かえるように、各章の導入部に小学校社会科で学習した人物キャラクターを中心にした年表が提示されている。
3 内容に関する配慮事項	○ 地理的分野や公民的分野で取り扱う内容や小学校での学習内容にはマークが付され、学習のつながりに配慮されている。 ○ 発展的な学習内容は、「伝統・文化」「環境・エネルギー」「防災・安全」などを取り扱い、生徒の多様な興味・関心に応えるとともに、現代的な諸課題に主体的に取り組む態度を育成できるよう配慮されている。
4 分量	○ 全体の分量は、授業時数から見て適切である。 ○ 学習内容に偏りがなく、調和がとれている。
5 使用上の便宜	○ 対話的な活動を行いやすいように、「みんなでチャレンジ」が設定され、自分の意見を調整し、主体的に学習に取り組む態度を養えるようになっている。 ○ 図版番号を添えたり、カラーUDに配慮したりする等、資料提示が工夫されている。
6 印刷・製本等	○ A B判で、印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び、製本の様式、材料など適切である。
7 その他特記事項	○ 二次元コードが掲載され、学習内容に関連するデジタルコンテンツが閲覧できるようになっている。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
社会 (歴史的分野)	17 教出	歴史 017-72	中学社会 歴史 未来をひらく

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、社会科の目標達成に結びつく内容であり、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に即している。
2 内容の取扱い	○ 章を通して、課題解決的に学習が進められるように、章を貫く問いや章末に学習のまとめの活動が設定されている。まとめの活動では意識すべき見方・考え方をアイコンとともに示すことで、時代の特色をより深く考察できるよう工夫されている。 ○ 「確認!」「表現!」のコーナーが設定されており、基礎的事項を確認したり、学習したことをもとに表現活動をしたりする場を設定することで、学習内容を整理できるように工夫されている。 ○ 個人やグループでの活動を通じて、歴史の学習で身に付けさせたい技能や表現力を養うことができるように、「歴史の技」のコーナーが設定されている。
3 内容に関する配慮事項	○ 「小学校」マークや「関連」マークを付すことで、小学校や地理的分野、公民的分野の学習内容との関連が分かるよう配慮されている。 ○ 学習内容の中心となる資料を大きく掲載するとともに、地図、写真、図などの資料に番号を付して、本文の内容と資料を結び付けて学ぶことができるよう配慮されている。
4 分量	○ 全体の分量は授業時数から見て適切である。 ○ 学習内容に偏りがなく、調和がとれている。
5 使用上の便宜	○ 特設ページ等で、SDGsの目標と関連する学習内容にマークを付すことで、持続可能な社会の実現に向けた意識や態度を涵養できるようにしている。 ○ 図版番号を添えたり、カラーUDに配慮したりする等、資料提示が工夫されている。
6 印刷・製本等	○ AB判で、印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料など適切である。
7 その他特記事項	○ 二次元コードが掲載されており、学習内容に関連するデジタルコンテンツが閲覧できるようになっている。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
社会 (歴史的分野)	46 帝国	歴史 046-72	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、社会科の目標達成に結びつく内容であり、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に即している。
2 内容の取扱い	○ 単元を貫く問いを踏まえた学習課題を各見開きに設置し、学習の見通し・振り返りがしやすいように構成されている。また、章末の「学習を振り返ろう」では、思考ツール等の活用を通して、振り返り学習がしやすくなっている。 ○ 「アクティブ歴史」のページにパフォーマンス課題が設定され、時代の特色やその背景等を考察できるため、主体的・対話的で深い学びを具現化し、対話を中心とした活動型の学習を促すように工夫されている。 ○ 各時代の導入時に社会の様子をイラストで概観し、生徒の気づきを促す「タイムトラベル」を通して、歴史的な見方・考え方を働かせる活動ができるように設定されている。
3 内容に関する配慮事項	○ 脚注欄に「小学校・地理・公民・他教科との関連コーナー」を設けたり、資料に「小」「地」「公」マークを付したりすることで、小学校や他分野との関連が分かるよう配慮されている。 ○ 本文ページに「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」を設け、見通しをもった学習と振り返りによる、知識の確実な定着、思考力・判断力・表現力の育成が図られている。
4 分量	○ 全体の分量は授業時数から見て適切である。 ○ 学習内容に偏りがなく、調和がとれている。
5 使用上の便宜	○ 「歴史的な見方・考え方」を働かせて考察できるように「見方・考え方」アイコンが提示されている。また、「持続可能な社会の実現」に向けた意識を育むことができるよう、巻頭やコラムでSDGsの目標やテーマが提示されている。 ○ 図版番号を添えたり、カラーUDに配慮したりする等、資料提示が工夫されている。
6 印刷・製本等	○ AB判で、印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料など適切である。
7 その他特記事項	○ 二次元コードが掲載されており、学習内容に関連するデジタルコンテンツが閲覧できるようになっている。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
社会 (歴史的分野)	81 山川	歴史 081-72	中学歴史 日本と世界 改訂版

項目	調査の結果
1 内容の範囲 及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、社会科の目標達成に結びつく内容であり、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に即している。
2 内容の取扱い	○ 1時間の授業ごとの因果関係を重視した記述や資料、人物コラム、用語解説等が充実しており、生徒が概念や知識を理解できる構成になっている。 ○ 各見開きにおいて、学習課題に取り組んだ後、多様な発問を通して学習内容をさらに深め、主体的・対話的で深い学びを促すように工夫されている。 ○ 各章末に「学習のまとめ」を設け、1時間の授業ごとに学習した内容を活用して、様々な視点から多面的・多角的にまとめられるように工夫されている。
3 内容に関する 配慮事項	○ 各章の扉で、日本と世界のできごとを帯年表や地図、イラストで紹介する紙面が設けられており、視覚的に流れや世界の状況を通観して理解できるように配慮されている。 ○ 写真やグラフ、コラムを用いた課題提示や、「ステップアップ」コーナーでの発展的な課題提示をとおして、歴史的な見方・考え方を働かせることができるよう配慮されている。
4 分量	○ 全体の分量は授業時数から見て適切である。 ○ 学習内容に偏りがなく、調和がとれている。
5 使用上の便宜	○ 「歴史へアプローチ」、「歴史を考えよう」等のコラムや資料・地図が充実しており、思考力・判断力・表現力を養ったり、学習内容を深めたりするための多様な視点を提示している。 ○ 図版番号を添えたり、カラーUDに配慮したりする等、資料提示が工夫されている。
6 印刷・製本等	○ AB判で、印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料など適切である。
7 その他特記事項	○ 二次元コードが掲載されており、学習内容に関連するデジタルコンテンツが閲覧できるようになっている。

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
社会 (歴史的分野)	116 日文	歴史 116-72	中学社会 歴史的分野

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、社会科の目標達成に結びつく内容であり、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に即している。
2 内 容 の 取 扱 い	○ 問いが構造化されており、各編に単元を貫く課題が設定され、各節に示されている問いをもとに自分の考えをまとめられるように構成されている。 ○ 歴史的な見方・考え方を巻頭で詳しく解説している。また、各見開きの学習課題とともに働かせたい見方・考え方を示すことで、生徒の見方・考え方を働かせた学びを促している。 ○ 基本的人権や平和・命の尊さ、隣国諸国との関係など現代的な諸課題について考えることで、よりよい未来の創造につながる課題や資料が示されている。
3 内 容 に 関 す る 配 慮 事 項	○ 資料から読み取ったことをもとに語句を選択したり、書き込んだりするワークシートに取り組むことで、自主的・自発的な学習が促されるように配慮されている。 ○ 脚注の連携コーナーにおいて、小学校や地理的分野、公民的分野、他教科の学習内容との関連を示す配慮がなされている。
4 分 量	○ 全体の分量は、授業時数から見て適切である。 ○ 学習内容に偏りがなく、調和がとれている。
5 使 用 上 の 便 宜	○ 特設コーナーで、SDGsの17のゴールと関連する学習内容がある場合に、持続可能な社会の実現に向けた意識や態度を涵養できるようにマークが掲載されている。 ○ 図版番号を添えたり、カラーUDに配慮したりする等、資料提示が工夫されている。
6 印 刷 ・ 製 本 等	○ AB判で、印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び、製本の様式、材料など適切である。
7 その他特記事項	○ 二次元コードが掲載され、学習内容に関連するデジタルコンテンツが閲覧できるようになっている。

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
社会 (歴史的分野)	2 2 5 自由社	歴史 225-72	新しい歴史教科書

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、社会科の目標達成に結びつく内容であり、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に即している。
2 内 容 の 取 扱 い	○ 各章の扉ページには、資料をもとに2人の人物が対話形式で問いを示し、それを解決する活動に必要な歴史的な事象が掲載されているページを示す工夫がされている。 ○ 見開きごとに追究課題を設定している。また、「チャレンジ」コーナーで学習した内容を説明したり、まとめたりする活動を設定することで、学習内容の定着を図っている。 ○ 章末のページに歴史に関わる諸事象をまとめた図が提示され、この図をもとに対話形式で学習した内容を振り返ることができる構成になっている。また、「復習問題のページ」で基礎的・基本的な知識の定着が図れるようになっている。
3 内 容 に 関 す る 配 慮 事 項	○ 各章の導入時に、小学校で学んだ人物を紹介し、小学校の学習内容との関連を図っている。 ○ 発展的な学習内容「もっと知りたい」では一つのテーマを詳しく掘り下げ、また「外の目から見た日本」では歴史的な事象や日本について外国はどうとらえているのか紹介することで、生徒が歴史的な事象を多面的・多角的に考察できるよう配慮されている。
4 分 量	○ 全体の分量は、授業時数から見て適切である。 ○ 学習内容に偏りがなく、調和がとれている。
5 使 用 上 の 便 宜	○ 人物画や系図、地図などの資料が大きく提示されている。 ○ 図版番号を添えたり、カラーUDに配慮したりする等、資料提示が工夫されている。
6 印 刷 ・ 製 本 等	○ A B判で、印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び、製本の様式、材料など適切である。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
社会 (歴史的分野)	227 育鵬社	歴史 227-72	新しい日本の歴史

項目	調査の結果
1 内容の範囲 及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、社会科の目標達成に結びつく内容であり、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に即している。
2 内容の取扱い	○ 「学びのナビゲーション」による数時間(単元)の流れの中で、テーマ、学び方、まとめ方などが示されており、問題解決型の学習を実現する構成になっている。 ○ 章・節の課題に対して、見開きごとの学習課題を追究することで解決できる構成となっている。1時間の授業ごとに学習課題、資料活用、確認、探究という活動ができるようになっており、主体的・対話的で深い学びを促すような構成になっている。 ○ 歴史的な見方・考え方を働かせるためのコーナーを設けて、歴史学習における思考力・判断力・表現力や資料活用能力を育めるように工夫されている。
3 内容に関する 配慮事項	○ 各章の冒頭に、歴史絵巻で各時代を象徴する人物や事象が年代順にイラストで示されており、小学校の学習内容を振り返りながら、学習の見通しが立てられるように配慮されている。 ○ 各章末に「学習のまとめ」を設け、各時代を年表で整理して多面的・多角的に考察し、まとめられるように配慮されている。
4 分量	○ 全体の分量は授業時数から見て適切である。 ○ 学習内容に偏りがなく、調和がとれている。
5 使用上の便宜	○ 「歴史ズームイン」、「歴史ビュー」等のコラムが充実しており、学習内容を深めるための解説や、多角的な視点を提示している。 ○ 図版番号を添えたり、カラーUDに配慮したりする等、資料提示が工夫されている。
6 印刷・製本等	○ AB判で、印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料など適切である。
7 その他特記事項	○ 二次元コードが掲載されており、学習内容に関連するデジタルコンテンツが閲覧できるようになっている。

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
社会 (歴史的分野)	229 学び舎	歴史 229-72	ともに学ぶ人間の歴史

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、社会科の目標達成に結びつく内容であり、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に即している。
2 内 容 の 取 扱 い	○ 各章の扉ページに世界地図を記載してその時代の日本と関係の深い国を提示したり、日本の歴史的事象の背景となる世界の歴史に関する記述を充実させたりすることで、日本と世界の歴史が深くかかわっていることに気付かせる構成になっている。 ○ 近世の学習に「百姓と町民の世」の章を設け、民衆からの視点で歴史的事象を捉えられるようにしたり、様々な分野や階層の人々、女性や子供などを取り上げたりすることで、生徒が多面的・多角的に歴史的事象をとらえ、考察できるよう工夫されている。 ○ 巻末の年表に、「日本の社会・政治・経済の動き」「日本の文化・宗教」「世界の動き」の欄や「北海道など」「本州など」「沖縄など」の欄を設け、大きな流れや出来事の関連がつかめるように工夫されている。
3 内 容 に 関 す る 配 慮 事 項	○ 大きく鮮明な図版が多くあり、図版をより詳しく読み取ることによって生徒の発見や疑問につなげ、自主的・自発的な学習が促されるように配慮されている。 ○ 発展的な学習内容の「歴史を体験する」では、7つのテーマのもと、フィールドワークや討論学習などが設定されており、主体的・対話的で深い学びにつながるよう配慮されている。
4 分 量	○ 全体の分量は、授業時数から見て適切である。 ○ 学習内容に偏りがなく、調和がとれている。
5 使 用 上 の 便 宜	○ 時代を中心となる国々を示した世界地図が各章の扉ページに掲示されている。 ○ 図版番号を添えたり、カラーUDに配慮したりする等、資料提示が工夫されている。
6 印 刷 ・ 製 本 等	○ A4判で、印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び、製本の様式、材料など適切である。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
社会 (歴史的分野)	236 令書	歴史 236-73	国史教科書 第7版

項目	調査の結果
1 内容の範囲 及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、社会科の目標達成に結びつく内容であり、適切に編集されている。 ○ 内容が詳細に示され、生徒の関心に応じた発展的な学びに対応している。
2 内容の取扱い	○ 章を通して、課題解決的に学習が進められるように、導入部で「政治」「外交」「文化」「産業」に関する問いが示されており、章末にまとめの活動が設定されている。 ○ 各時代の本文の記述が詳しく、その時代を深く学ぶことができるコーナーや資料が豊富に掲載されており、主体的かつ発展的な学習ができるように工夫されている。 ○ 原始・古代と近代・現代の学習課題を多く設定することで、より深く学ぶことができるようになっている。
3 内容に関する 配慮事項	○ 序章に小学校の学習内容や歴史的な見方・考え方の視点などが掲載されており、主体的・対話的で深い学びができるように配慮されている。 ○ 各章の導入部に漫画の挿絵が掲載されており、生徒の興味・関心を高められるように配慮されている。
4 分量	○ 全体の分量は授業時数から見て適切である。 ○ 学習内容に偏りがなく、調和がとれている。
5 使用上の便宜	○ 基礎的・基本的な知識の定着を図るために、各ページに用語の「注釈」が詳細に掲載されている。 ○ 章末の「まとめ学習」では、新聞づくり等の作業的・体験的学習により歴史への理解が深まるように工夫されている。
6 印刷・製本等	○ A5判で、縦書き2段組みの463ページで編集されている。本編は白黒、巻末資料・日本美術図鑑はカラー印刷である。印刷は鮮明であり、製本の様式、材料など適切である。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
社会 (公民的分野)	2 東書	公民 002-92	新編 新しい社会 公民

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、社会科の目標達成に結びつく内容であり、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に即している。
2 内 容 の 取 扱 い	○ 単元を貫く「探究課題」、1時間ごとの「学習課題」、それらをつなぐ「探究のステップ」の3段階の問いが課題解決的な学習を促している。また、見方・考え方を働かせる視点をマークで示したり、地理的分野や歴史的分野、他教科の学習内容と関連が強い箇所にマークを示したりすることで、深い学びにつなげている。 ○ 1時間の学習のまとめとして「チェック&トライ」のコーナーを設けて学習内容の整理ができるよう工夫されている。また、単元末のまとめに「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」のアイコンを明示することで、評価の観点との関連が分かりやすいように工夫されている。 ○ 対話を通して深い学びを実現するための活動を、「みんなでチャレンジ」のコーナーとして、本文やまとめのページに設定している。
3 内 容 に 関 する 配 慮 事 項	○ 「18歳へのステップ」のコーナーや高校で学ぶ「公共」の学習内容を紹介するページを設定し、主権者意識を高め、主体的に社会に参画する態度を養う配慮がされている。 ○ 現代的諸課題を5つのテーマでとらえ、持続可能な社会の実現を常に意識できるように配慮されている。
4 分 量	○ 全体の分量は、授業時数から見て適切である。 ○ 授業内容に偏りがなく、調和がとれている。
5 使 用 上 の 便 宜	○ 学習課題、本文、資料、チェック&トライ等を定位置に配置し、学習の流れが可視化できるようにしている。 ○ ふりがなにはゴシック体を使用し、カラーバリアフリーに配慮している。
6 印 刷 ・ 製 本 等	○ AB判で、印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び、製本の様式、材料など適切である。
7 その他特記事項	○ 二次元コードが掲載され、学習に関連するデジタルコンテンツが閲覧できるようになっている。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
社会 (公民的分野)	17 教出	公民 017-92	中学社会 公民 ともに生きる

項目	調査の結果
1 内容の範囲 及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、社会科の目標達成に結びつく内容であり、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に即している。
2 内容の取扱い	○ 単元(章)を通して課題解決的に学習を進められるよう、課題を捉え、見通しを立て、追究し、解決していく力の育成が図られているとともに、社会的な見方・考え方を働かせた学習が促されるよう構成されている。 ○ 場面に応じて「公民の技」コーナーを設け、個人やグループでの活動を通して資料を読み取る技能や表現力などを身に付けさせるよう工夫されている。 ○ 左ページ下に設けられた「関連コーナー」で、3分野間の関連箇所を示すことで、社会をより深く理解することができる内容、構成となっている。
3 内容に関する 配慮事項	○ 生徒の生活体験から出発する「ウォーミングアップ! 公民」に取り組みながら、問題意識を醸成しつつ、単元を貫く課題を捉え、共有し、見通しをもたせる構成となっている。 ○ 巻頭のSDGsコーナー、特設の「持続可能な社会に向けて」、各章末の「学習のまとめと表現」の「JUMP!」など、社会への関心を高め、自ら行動していこうとする態度を涵養するページが充実している。
4 分量	○ 全体の分量は、授業時数から見て適切である。 ○ 学習内容に偏りがなく、調和がとれている。
5 使用上の便宜	○ 1時間の学習の導入部に、自ら問いや学習の見通しをもてるように、資料についての詳しい解説を加え、見開きで通し番号を示すことで、資料と本文との関係を理解しやすくしている。 ○ ふりがなにはゴシック体を使用し、カラーバリアフリーに配慮している。また、読解に負担がかからないように、側注や巻末に「用語解説」、索引の最後に「欧文略称」のコーナーが設けられている。
6 印刷・製本等	○ AB判で、印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び、製本の様式、材料など適切である。
7 その他特記事項	○ 二次元コードが掲載され、学習に関連するデジタルコンテンツが閲覧できるようになっている。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
社会 (公民的分野)	46 帝国	公民 046-92	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、社会科の目標達成に結びつく内容であり、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に即している。
2 内容の取扱い	○ 各單元には、單元を貫く問い「章の問い」、小単元の問い「節の問い」、毎時の問い「学習課題」、「確認しよう」、「説明しよう」を設定し、それぞれの問いの役割と関連を明確にしている。 ○ それぞれの單元で、具体的な事例を示すことにより、社会的な見方・考え方を働かせ、持続可能な社会の実現や社会参画への意識を高められるような内容となっている。 ○ 「小学校・地理・歴史・他教科との関連」コーナーを設けたり、資料に「小」「地」「歴」アイコンを付したりすることで、小学校や地理的分野・歴史的分野・他教科の学習内容との関連を確認できるようになっている。
3 内容に関する配慮事項	○ 単元のはじめの「学習の前に」では、イラストを読み解く学習活動を通して、学習に対する興味・関心を高め、単元の学習の見通しを立てることができるよう配慮されている。 ○ 単元のまとめとして設定した「学習を振り返ろう」では、思考ツールや対話的な学びを通して、節の問いや章の問いに取り組み、単元の学習を振り返らせることができるよう配慮されている。
4 分量	○ 全体の分量は、授業時数から見て適切である。 ○ 学習内容に偏りがなく、調和がとれている。
5 使用上の便宜	○ ふりがなにはゴシック体を使用し、カラーバリアフリーに配慮している。 ○ 図版に模様や線、記号などを使用することによって、色以外にも情報を読み取れるよう配慮されている。
6 印刷・製本等	○ AB判で、印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び、製本の様式、材料など適切である。
7 その他特記事項	○ 二次元コードが掲載され、学習に関連するデジタルコンテンツが閲覧できるようになっている。

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
社会 (公民的分野)	1 1 6 日文	公民 116-92	中学社会 公民的分野

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、社会科の目標達成に結びつく内容であり、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に即している。
2 内 容 の 取 扱 い	○ 「章の問い」や「節の問い」を設定し、その回答を行うコーナーやページを設けており、見通しをもって学習に取り組める単元構成になっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、見方・考え方を働かせることができるよう、問いや活動事例を提示した「アクティビティ」、社会の課題を考察・構想する「チャレンジ公民」を設け、対話的な活動を行う箇所に「学び合い」マークを付すなど工夫されている。 ○ 課題解決の手がかりになる「見方・考え方」を例示したり、問いや活動事例を提示したりすることで、基礎・基本の確かな定着ができるように工夫されている。また、地理的分野や歴史的分野との関連をマークで示すことで、知識を関連づけることができるよう工夫されている。
3 内 容 に 関 する 配 慮 事 項	○ 現代的・社会的課題への対応、伝統文化の尊重と国際理解、社会の持続可能な発展を重点課題として取り上げたり、社会参画を促す特設ページを設けたりすることで、生徒が社会とのつながりに対する関心を高めることができるよう配慮している。 ○ 最新の事例や生徒が身近な問題として考えられる事例を掲載し、公民的分野の内容を学ぶ楽しさを感じる事ができるよう配慮している。
4 分 量	○ 全体の分量は、授業時数から見て適切である。 ○ 授業内容に偏りがなく、調和がとれている。
5 使 用 上 の 便 宜	○ ふりがなにはゴシック体を使用し、カラーバリアフリーに配慮している。 ○ イラスト教材を豊富に掲載している。特に各章の導入場面ではイラストによってどんな学習をするのか具体的なイメージを持つことができるよう工夫されている。
6 印 刷 ・ 製 本 等	○ A B判で、印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び、製本の様式、材料など適切である。
7 その他特記事項	○ 二次元コードが掲載され、学習内容に関連するデジタルコンテンツが閲覧できるようになっている。

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
社会 (公民的分野)	225 自由社	公民 225-92	新しい公民教科書

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、社会科の目標達成に結びつく内容であり、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に即している。
2 内 容 の 取 扱 い	○ 公民学習に重要なことから、複数の単元で繰り返し学習することで、理解を段階的に発展できる構成になっている。 ○ 持続可能な社会の実現にむけて、各章末の「学習のまとめと発展」、終章の「レポート」「卒業論文」「ディベート」等において、生徒が主体的に思考し、判断し、表現することによって、公民として必要な主体的、実践的な能力を伸ばしていくことができるよう構成されている。 ○ 特に大切な確認事項を「ここがポイント」に記しており、まとめをサポートする構成になっている。
3 内 容 に 関 する 配 慮 事 項	○ 重要な語句については、「ミニ知識」のコーナーを設けて解説することで、生徒が理解できるよう工夫されている。 ○ 発展的に学習して理解を深めることが必要な箇所では、単元に準じた「もっと知りたい」のコーナーを設け、歴史的文化的背景や社会の仕組みについて興味をもって学ぶことができるように配慮されている。
4 分 量	○ 全体の分量は、授業時数から見て適切である。 ○ 学習内容に偏りがなく、調和がとれている。
5 使 用 上 の 便 宜	○ 重要語句はゴシック体で示され、イラストや写真は、生徒の意欲を喚起したり、興味・関心を高めたりすることができるように厳選されている。 ○ ふりがなにはゴシック体を使用し、カラーバリアフリーに配慮している。
6 印 刷 ・ 製 本 等	○ A B判で、印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び、製本の様式、材料など適切である。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
社会 (公民的分野)	2 2 7 育鵬社	公民 227-92	新しいみんなの公民

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、社会科の目標達成に結びつく内容であり、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に即している。
2 内 容 の 取 扱 い	○ 小学校の既習事項を各章の扉で、また地理的分野や歴史的分野で学習した関連内容は該当する見開きページで適宜紹介することで、小中の系統性と3分野の関連性を高め、スムーズに公民的分野の学習に取り組めるよう工夫している。 ○ 各章の導入では「入り口」のページを設けて学習内容への興味・関心を促し、章末には「これから」のページを設けて章の学習内容を活かして見方・考え方を広げ、学びを深めていけるように構成されている。 ○ 「スキルアップ」「学習を深めよう」「やってみよう」など、言語活動や思考ツールを使った公民の基礎的な技能を身につけるコーナーを設け、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫がされている。
3 内 容 に 関 する 配 慮 事 項	○ 世界平和の観点からの領土に関する記述や人権と多文化共生に関する記述を充実させるなど、国や地域の抱える課題を多面的・多角的に捉えることができるよう配慮されている。 ○ 豊富な写真や新聞記事、両論併記のコラム等を多数掲載し、現代社会の特色がわかる教材を充実させ、多面的・多角的な思考力・判断力・表現力を養うことができるように配慮している。
4 分 量	○ 全体の分量は、授業時数から見て適切である。 ○ 授業内容に偏りがなく、調和がとれている。
5 使 用 上 の 便 宜	○ 見開き1時間の構成で、法令や年表、日本の伝統文化の一覧等の学習資料を巻末に掲載している。 ○ ふりがなにはゴシック体を使用し、カラーバリアフリーに配慮している。
6 印 刷 ・ 製 本 等	○ A B判で、印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び、製本の様式、材料など適切である。
7 その他特記事項	○ 二次元コードが掲載され、学習内容に関連するデジタルコンテンツが閲覧できるようになっている。

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
地図	2 東書	地図 002-72	新編 新しい社会 地図

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、社会科の目標達成に結びつく内容であり、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に即している。
2 内 容 の 取 扱 い	○ 世界の各州、日本の各地方では、自然や土地利用、人口などに関する共通の主題図を掲載することで、地域を概観し、その特色に関する基礎的・基本的な知識を習得できるようになっている。 ○ 「Bee's eye」コーナーで、1見開きに1問以上の問いを掲載することで、見方・考え方を働かせて地図帳をより深く読み取り、資料を活用する力や思考力を養うことができるよう工夫されている。 ○ 環境問題や防災などの諸課題を捉えることができる資料を掲載したり、SDGsの視点を明示したりすることで、主体的に現代的な諸課題を捉え、解決に取り組む態度を育めるように工夫されている。
3 内 容 に 関 する 配 慮 事 項	○ 学習内容に適した写真や自然・産業・人口などの主題図が豊富に掲載されており、世界の各州、日本の各地方の特徴を捉えることにより、技能や資料活用能力、思考力を高められるようになっている。 ○ 見開きごとに設定している問いに歴史的分野や公民的分野に関する問いを設け、地理的分野だけではなく歴史的分野、公民的分野でも活用できるよう配慮されている。
4 分 量	○ 全体の分量は授業時数から見て適切である。 ○ 学習内容に偏りがなく、調和がとれている。
5 使 用 上 の 便 宜	○ 巻頭で地図帳の活用方法を詳しく解説するとともに、巻頭の目次で資料や図が探しやすいように配慮されている。
6 印 刷 ・ 製 本 等	○ A4判で印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料など適切である。
7 その他特記事項	○ 二次元コードが掲載されており、学習内容に関連するデジタルコンテンツが閲覧できるようになっている。

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
地図	4 6 帝国	地図 046-72	中学校社会科地図

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、社会科の目標達成に結びつく内容であり、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に即している。
2 内 容 の 取 扱 い	○ 問いコーナー「地図で発見！」を設けることで、地理的な見方・考え方を働かせて主体的に学習に取り組んだり、地図活用の技能を身につけられたりするよう工夫されている。 ○ 地図は平面図に加え鳥瞰図が多く掲載されており、地域的特色を視覚的に捉え大観できるよう工夫されている。 ○ SDGs について考察できるよう、関係するページや資料に「SDGs アイコン」が全48か所に掲載されている。また、「防災」「環境」などのテーマをもたせた特設の主題図が掲載されており、持続可能な社会について考えることができるように工夫されている。
3 内 容 に 関 する 配 慮 事 項	○ 地理的分野だけでなく、歴史的分野、公民的分野でも活用できるような地図、資料が豊富に掲載されているとともに、「歴」「公」マークを見開きページの主題部に付すことで、歴史的分野や公民的分野との関連を図っている。 ○ 同ページ内の資料図を同縮尺で示したり、世界地図に同縮尺や同緯度の日本地図を掲載したりするなど、比較によって地域の特色が考察できるように配慮されている。
4 分 量	○ 全体の分量は授業時数から見て、適切である。 ○ 学習内容に偏りがなく、調和がとれている。
5 使 用 上 の 便 宜	○ 地図帳の基本的な見方や使い方を巻頭の「地図帳の使い方」ページで分かりやすく解説することで、主体的に学習を進められるように工夫されている。
6 印 刷 ・ 製 本 等	○ A4判で印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料など適切である。
7 その他特記事項	○ 二次元コードが掲載されており、学習内容に関連するデジタルコンテンツが閲覧できるようになっている。

数 学 科

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
数学	2 東書	002-72 002-82 002-92	新編 新しい数学

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、数学の目標達成に結びつく内容に留意し、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に適している。
2 内容の取扱い	○ 数学的な見方・考え方を働かせるために、問題解決的な学習を重視し、内容のまとまりごとに学習を振り返る場面が設けられている。 ○ 数学的活動の楽しさやよさを実感できるように、日常生活や社会の問題を解決したり、数学の新しい性質を見出したりする活動が取り扱われている。 ○ 思考力・判断力・表現力を養うために、「深い学び」がほぼ全ての章に設けられており、問題解決の過程を意識しながら、主体的に取り組めるようになっている。 ○ 全国学力・学習状況調査結果等に基づき、課題が見られる内容の取扱いを丁寧にするなど、個別最適な学びへのサポートがなされている。
3 内容に関する配慮事項	○ 小中、中高の接続を意識しやすく配慮されており、各単元、場面において、思考力・判断力を養うように工夫されている。 ○ 「基本の問題」や「補充の問題」では、繰り返し練習に取り組む機会が設定されている。
4 分量	○ 領域ごとの内容・分量の配分は適切で基礎的内容から発展的内容までバランスよく配当されている。 ○ 配当時数が、内容を精選して、ゆとりを持って設定されている。
5 使用上の便宜	○ 二次元コードによるデジタルコンテンツが多数掲載されており、多様な学びに配慮されている。 ○ マーク類や側注を精選し、内容ごとのまとまりを分かりやすくしており、十分な余白のある学びやすい紙面になっている。
6 印刷・製本等	○ 多色の使用を避け、全体の基調を統一し、学習に集中しやすい紙面となっている。 ○ B5判で、印刷は鮮明であり、UDフォントが使用されている。行間も十分あり、堅牢で開きやすく作られている。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
数学	4 大日本	702 802 902	数学の世界

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、数学の目標達成に結びつく内容に留意し、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に適している。
2 内容の取扱い	○ 数学的な見方・考え方を働かせるために、数量や図形などの性質を見出すことができるような問い方をしたり、具体例を示したりしている。 ○ 数学的活動の楽しさやよさを実感できるように、学習する課題の題材は身近なものから選択し、各章に「利用」の活動を設け、数学の有用性を感じられるように工夫されている。 ○ 思考力・判断力・表現力を養うために、式や表、グラフなどを利用して調べたり、説明したりする場面を設定し、複数の考え方や表し方を比較、考察する活動を取り入れている。 ○ 思考の段階に対応した問題発見・問題解決の流れを示し、解決の過程を振り返ったり、新たな問題を発見したりすることを通して、深い学びが実現するように工夫されている。
3 内容に関する配慮事項	○ 各領域ともに学年間の系統性を重視し、学び直しや発展的な考え方ができるような構成になっている。 ○ 補充問題が掲載されており、個に応じた学習ができるよう配慮されている。
4 分量	○ 学習内容を定着させるために適切な分量の問題が掲載されている。 ○ 領域ごとの内容の分量配分は適切で、基礎的・基本的学力の定着のために、バランスよく時間配当されている。
5 使用上の便宜	○ 教科書内に二次元コードが掲載され、学習内容に関連するデジタルコンテンツが閲覧できるようになっている。 ○ 用語や記号の初出時は太字でルビをふったり、写真や図を効果的に活用したり、生徒の理解を促すよう工夫されている。
6 印刷・製本等	○ B5判で、印刷は鮮明であり、製本の様式、材料などが適切である。 ○ UDフォントが使用されており、行間が広めにとられている。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
数学	11 学図	011-72 011-82 011-92	中学校数学

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、数学の目標達成に結びつく内容に留意し、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に適している。
2 内 容 の 取 扱 い	○ 数学的な見方・考え方を働かせるために、どのような場面で見方・考え方を使うのかが分かりやすくまとめられており、様々な場面で活用できるように配慮されている。 ○ 数学的活動の楽しさやよさを実感できるように、具体物を操作する活動と数学的に考えたり説明したりする活動を結びつける工夫がなされている。 ○ 思考力・判断力・表現力を養うために、「章のまとめの問題」に活用場面が設けられており、いろいろな場面で数学が活用できるようになっている。 ○ 章の最後に、この章で何ができるようになったかを自己評価できるようになっており、生徒の学ぶ意欲を引き出す構成になっている。
3 内 容 に 関 する 配 慮 事 項	○ 小中、中高との円滑な接続を意識し、これまでの学習を振り返ることができる内容になっている。 ○ 既習事項を振り返る機会を設定し、継続的な指導や学年間の円滑な接続ができるようになっている。
4 分 量	○ 全員必修の内容と、個の興味・関心に応じて学習する内容等基礎的内容から発展的内容までバランスよく配分されている。 ○ 配当時数が、内容を精選して、ゆとりを持って設定されている。
5 使 用 上 の 便 宜	○ 二次元コードによるデジタルコンテンツが多数掲載されており、多様な学びに配慮されている。 ○ マーク類や側注を精選し、内容ごとのまとまりを分かりやすくしており、十分な余白のある学びやすい紙面になっている。
6 印 刷 ・ 製 本 等	○ UD フォントが使用されており、多色の使用を避け、全体の基調を統一し、学習に集中しやすい紙面となっている。 ○ B5判で、表紙は表面にコーティングをし、汚損しにくくなっており、製本は堅牢である。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
数学	17 教出	017-72 017-82 017-92	中学数学

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、数学の目標達成に結びつく内容に留意し、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に適している。
2 内容の取扱い	○ 数学的な見方・考え方を働かせるために、「学習過程で生じる疑問」から「解決のしかた」を見いだし「新たな疑問」へつなげる数学的活動のサイクルが位置付けられている。 ○ 数学的活動の楽しさやよさを実感できるように、章末や巻末に学習内容をさらにひろげたり深めたりするコラムや課題などが多数掲載されている。 ○ 思考力・判断力・表現力を養うために、章末「学習のまとめ」において、学習して分かったことや解決の仕方を協働的に振り返ることができるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、側注に「学びのプロセス」を示し、問題発見・解決の過程を意識しながら学習できるようになっている。
3 内容に関する配慮事項	○ 小中、中高の連携を意識しやすく配慮されており、各単元、場面において、思考力・判断力を養うように工夫されている。 ○ 例題と問の間に「たしかめ」が設けてあり、スモールステップで着実に学習が進められるように配慮されている。
4 分量	○ 領域ごとの内容・分量の配分は適切で基礎的内容から発展的内容までバランスよく配当されている。 ○ 配当時数が、ゆとりを持って設定されており、弾力的に指導できるように工夫されている。
5 使用上の便宜	○ 「まなびリンク」では、学習の活性化、内容理解に効果的な二次元コードによるデジタルコンテンツが掲載されており、多様な学びに配慮されている。 ○ マーク類や側注を精選し、内容ごとのまとまりを分かりやすくしており、十分な余白のある学びやすい紙面になっている。
6 印刷・製本等	○ カラーを効果的に使用し、生徒が落ち着いて楽しく興味・関心をもって学習を進めることができるように作られている。 ○ B5判で、印刷は鮮明であり、UDフォントが使用されている。行間も十分あり、堅牢で開きやすく作られている。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
数学	61 啓林館	061-72 061-82 061-92	未来へひろがる数学

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、数学の目標達成に結びつく内容に留意し、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に適している。
2 内容の取扱い	○ 数学的な見方・考え方を働かせるために、「利用」場面で問題の設定、解決、振り返り、新たな問いの設定ができるような「ステップ方式」が導入されている。 ○ 数学的活動の楽しさやよさを実感できるように、「説明しよう」「話しあおう」など、様々な考えを比較・説明する活動が設定されている。 ○ 思考力・判断力・表現力を養うために、発展的な問題において、解答例と異なる視点で自発的に考察できるような発問が示されている。 ○ 数学を学ぶ意義や有用性が感じられるように、単元の導入やページ内において、身のまわりの題材や関連する話題が多く扱われている。
3 内容に関する配慮事項	○ 生徒の興味・関心や進度などに応じて柔軟に扱える二次元コードによるデジタルコンテンツが掲載されており、個別最適な学習に対応している。 ○ 「説明しよう」、「まとめよう」において、表現したり、考えを比較してよさを認めたりする場面が設けられている。
4 分量	○ 深化・発展的な学習、補充問題などに時間をあてられるように各学年ともに余裕がある時間配当になっている。 ○ 章末や巻末には基礎的・基本的な問題や発展的な問題が幅広く配置され、二次元コードによるデジタルコンテンツによる分量の調整も可能である。
5 使用上の便宜	○ 二次元コードやリンクマークを示し、導入や学習内容の理解、補充問題などのコンテンツが豊富に掲載されている。 ○ 本文全体を通して読みやすくなるように、簡潔・明瞭でやさしく読める文章表現になっている。
6 印刷・製本等	○ 印刷が鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切である。 ○ B5判で、UDフォントが使われており、文字の大きさや色使いなどに配慮されている。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
数学	104 数研	104-73 104-83 104-93	これからの数学

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、数学の目標達成に結びつく内容に留意し、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に適している。
2 内容の取扱い	○ 数学的な見方・考え方を働かせるために、キャラクターの会話を手がかりにして、課題解決のプロセスを確認することで、自然に考察ができるよう工夫されている。 ○ 数学的活動の楽しさやよさを実感できるように、生徒にとって身近な問題が豊富に取り上げられており、数学を活用する意識や数学の有用性を感じられるようになっている。 ○ 思考力・判断力・表現力を養うために、「見つけよう」「やってみよう」には、思考力・判断力・表現力を必要とする問題を配置し、理解と活用する力が深まるように配慮されている。 ○ 数学を学ぶことの意義が感じられるように、学習事項に関連した話題を扱った「数学旅行」の冒頭では、数学に関連する職業に就いている人へのインタビュー記事が掲載されている。
3 内容に関する配慮事項	○ 単元の中で、学びに関連する既習内容や習熟の程度に応じた問題が掲載されている。 ○ 対話が多く取り入れられており、数学的な考え方を説明したり、多面的に考察したりする力を育むよう配慮されている。
4 分量	○ 授業時数や生徒の発達段階に対して、ゆとりのある指導ができるように、余裕のある配當時数になっている。 ○ 問題内容は、「問」「練習問題」「確認問題」「章の問題」「チャレンジ編」に分けられ、十分な量の問題が収録されている。
5 使用上の便宜	○ 学んだことを他教科の内容とも関連付け、教科横断的な学習ができるように工夫されている。 ○ 二次元コードが掲載され、補充問題や音声解説動画と学びに役立つデジタルコンテンツが閲覧できるようになっている。
6 印刷・製本等	○ 印刷が鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切である。 ○ B5判で、UDフォントが使われており、文字の大きさや色使いなどに配慮されている。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
数学	116 日文	116-72 116-82 116-92	中学数学

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、数学の目標達成に結びつく内容に留意し、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に適している。
2 内容の取扱い	○ 数学的な見方・考え方を働かせるために、「大切な見方・考え方」として、各場面で身につけさせたい数学的な見方・考え方を掲載している。 ○ 数学的活動の楽しさやよさを実感できるように、巻頭見返しや章の扉では、生徒に疑問を抱かせ、どうすれば疑問を解決できるのかと興味を引くような内容が提示されている。 ○ 思考力・判断力・表現力を養うために、「深めよう」では、数量や図形などの性質を見だし、統合的・発展的に考察する場面が設けられている。 ○ 巻頭で数学の学び方の概要を示し、それぞれの学習場面で具体的な学び方が例示されており、主体的・対話的で深い学びを実現できるようになっている。
3 内容に関する配慮事項	○ 「次の章を学ぶ前に」や「Q確かめよう」、「確かめ」があり、既習事項を確かめて学習が進められるよう工夫されている。 ○ 「学び合おう」では、自分で考え、問題解決する過程が示されており、深い学びができるよう工夫されている。
4 分量	○ 授業時数に合わせて、効率よく合理的に学習できる分量になっている。 ○ 「基本の問題」「章の問題」「補充の問題」「計算問題」と十分な問題量で、実態に応じて柔軟に扱うことができる。
5 使用上の便宜	○ 二次元コードによるデジタルコンテンツのアニメーションでは再生速度を4段階で選べ、個別最適な学びへの配慮がされている。 ○ 巻末の「対話シート」は、自分の考えを整理し、互いの考えを伝え合えるように工夫されている。
6 印刷・製本等	○ 文字の大きさ、配色、行間隔、字間、1行の文字数は、読みやすいように配慮されている。 ○ B5判で、文字、図版、写真などは鮮明に印刷されており、UDフォントが使用されている。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

理科

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
理科	2 東書	002-72 002-82 002-92	新編 新しい科学

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 内容は教科の目標達成に結びつくものになっており、発達段階に応じた程度となっている。また、学習指導要領に示す教科、学年、領域の事項を不足なく取り上げている。
2 内容の取扱い	○ 各単元ともに「スタート動画」や「課題アイコン」を配置して課題を明らかにし、見通しをもって観察、実験を行うことができる内容になっている。 ○ 「課題」について観察、実験を行い、その後に「自分の考えをまとめよう」が配置されることにより、科学的に探究しようとする力を養うことができる内容になっている。 ○ エネルギー、粒子、生命、地球の4つの概念に沿って、各単元が適切に配置されている。 ○ 各章末には「学んだことをチェックしよう」、各単元末には「学習内容の整理」「確かめ問題」「活用問題」が配置され、自然事象についての理解を深める内容になっている。
3 内容に関する配慮事項	○ 各単元の初めに「これまでに学んだこと」が配置され、各分野間及び各項目間の関連が考慮されている。 ○ 各単元末に「社会につながる科学」が配置され、理科で学習することが様々な職業などに関係していることがわかるよう配慮されている。 ○ 巻末部に「理科室の決まり」が示されると共に、各観察、実験の手順においても注意事項が赤字で示されるなど、事故の防止等に配慮されている。
4 分量	○ 各分野・各領域の内容に偏りなく適切に配分されている。 ○ 配当時間は適切である。
5 使用上の便宜	○ 「スタート動画」「実験手順」「資料動画」「Web ページ」「章末問題」「ワークシート」「他教科の内容」「シミュレーション」等、多くの内容に二次元コードからアクセスできるようになっている。 ○ 図や写真が大きく詳細であり、内容の理解に役立っている。
6 印刷・製本等	○ UD フォントの使用や色覚特性に適応したデザインなど、見やすい配慮がなされている。 ○ 軽量の紙を使用しているため、AB 判であるが比較的軽い。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
理科	4 大日本	702 802 902	理科の世界

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 内容は教科の目標達成に結びつくものになっており、学習指導要領に示す教科、学年、領域の事項を不足なく取り上げている。また、発達段階に応じた程度となっている。
2 内 容 の 取 扱 い	○ 主体的な学びを引き出す「理科の学習の進め方」や対話的な学びを喚起する対話の具体例が適切に配置され、深い学びが実現できるような内容となっている。 ○ 問題解決的な学習ができるように、各学年に探究の過程を意識したマークが示されており、学習の過程に配慮した内容となっている。 ○ エネルギー、粒子、生命、地球の4つの概念に沿って、各単元が適切に配置されている。また、課題や着目点が明確で基礎的・基本的な知識・技能に結び付く構成となっている。 ○ 理科の見方・考え方の例を「探究の進め方」で示し、探究の過程が具体的な課題をもとに示されている。
3 内 容 に 関 する 配 慮 事 項	○ 「これまでに学習したこと」や「思い出そう」で小学校の学習内容を振り返ることができるよう配慮されている。 ○ 他教科の学習内容との関連を示し、より深い理解につながるよう配慮されている。 ○ 「理科室のきまり」で観察・実験における注意マークが示されており、事故防止について十分配慮されている。
4 分 量	○ 各分野・各領域の内容に偏りなく適切に配分されている。 ○ 配当時間は適切である。
5 使 用 上 の 便 宜	○ 各学年のはじめに「理科の進め方」を設け、課題を捉え、観察や実験を行い、結果をもとに考えるという流れを示し、学習の見通しがもてるように配慮されている。 ○ 二次元コードがあり、器具の操作などの動画コンテンツに接続できるように配慮されている。
6 印 刷 ・ 製 本 等	○ ユニバーサルデザインへの配慮がなされている。 ○ B5判で製本は開きやすく、中央部がよく見えるように配慮されている。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
理科	11 学図	011-72 011-82 011-92	中学校 科学

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 内容は教科の目標達成に結びつくものになっており、発達段階に応じた程度となっている。また、学習指導要領に示す教科、学年、領域の事項を不足なく取り上げている。
2 内容の取扱い	○ 「気づき」→「課題」→「仮説」→「計画」→「方法」→「結果」→「考察」という探究の流れが示されており、見通しをもって観察、実験を行うことができる内容になっている。 ○ 「課題」のフォントを大きくして意識させ、いくつかの「仮説」を示すことにより、科学的に探究しようとする力を養うことができる内容になっている。 ○ エネルギー、粒子、生命、地球の4つの概念に沿って、各単元が適切に配置されている。 ○ 巻末の「補充資料」中に「計算問題」「読解力強化問題」「思考をさらに深める（高校入試）」が配置され、自然事象についての理解を深める内容になっている。
3 内容に関する配慮事項	○ 各章の初めに SDGs のターゲットが示され、自然環境の保全等に寄与する態度を養うつくりとなっている。 ○ 日常生活や社会と科学技術の関連については、巻末の「補充資料」中にまとめて掲載されている。 ○ 各観察、実験の手順において、注意事項が赤字で示されるなど、事故の防止等に配慮されている。
4 分量	○ 各分野・各領域の内容に偏りなく適切に配分されている。 ○ 配当時間は適切である。
5 使用上の便宜	○ ほぼ全てのページ上隅に二次元コードが配置され、デジタル教科書にアクセスできるようになっている。 ○ 一つの観察、実験について3～4ページが割かれており、実験の手順等の写真が大きく示されている。
6 印刷・製本等	○ UD フォントが使用され、色使いやレイアウトに配慮した編集になっている。 ○ AB 判であり、紙に光沢が施されている。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
理科	17 教出	017-72 017-82 017-92	自然の探究 中学理科

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 内容は教科の目標達成に結びつくものになっており、発達段階に応じた程度となっている。また、学習指導要領に示す教科、学年、領域の事項を不足なく取り上げている。
2 内 容 の 取 扱 い	○ 巻頭に「探究の進め方」が配置され、見通しをもって観察、実験を行い、自然事象を探究することができる内容になっている。 ○ 「課題」のフォントを大きくして意識させ、いくつかの「仮説」を示すことにより、科学的に探究しようとする力を養うことができる内容になっている。 ○ エネルギー、粒子、生命、地球の4つの概念に沿って、各単元が適切に配置されている。 ○ 各単元末には「要点と重要用語の整理」「基本問題」「活用問題」が、巻末には「学年末総合問題」が配置され、自然事象についての理解を深める内容になっている。
3 内 容 に 関 す る 配 慮 事 項	○ 「ブリッジ算数」や「SDGs へのかかわり」が配置され、他教科や社会と関連づけることができるよう配慮されている。 ○ 「これまでの学習」や「ハローサイエンス」「広がる科学の世界」が示され系統的・発展的な指導ができるよう配慮されている。 ○ どの学年にも巻頭部に「理科室のきまりと応急処置」が示されると共に、各観察、実験の手順においても注意事項が赤字で示されるなど、事故の防止等に配慮されている。
4 分 量	○ 各分野・各領域の内容に偏りなく適切に配分されている。 ○ 配当時間は適切である。
5 使 用 上 の 便 宜	○ 「これまでの学習のおさらい」「要点をチェック」や各種資料等に二次元コードからアクセスできるようになっており、二次元コードはページ番号横の定位置に配置されている。 ○ 「周期表」が巻末に配置されており、情報を取り出しやすい。
6 印 刷 ・ 製 本 等	○ UD フォントを使用し、フォントサイズも大きい。また、カラーUD に配慮しており、重要語句はオレンジ色で示されている。 ○ AB 変型判で、表紙には抗菌加工がなされている。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
理科	6 1 啓林館	061-72 061-82 061-92	未来へひろがる サイエンス

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 内容は教科の目標達成に結びつくものになっており、発達段階に応じた程度となっている。また、学習指導要領に示す教科、学年、領域の事項を不足なく取り上げている。
2 内 容 の 取 扱 い	○ 各単元の前に「学ぶ前にトライ」「学んだ後にリトライ」という単元を通した課題設定があり、見通しをもって学習に取り組める内容になっている。 ○ 「課題の把握」→「課題の追究」→「課題の解決」の流れの中で観察・実験を行うことにより科学的に探究しようとする力を養うことができる内容になっている。 ○ エネルギー、粒子、生命、地球の4つの概念に沿って、各単元が適切に配置されている。 ○ 各章末には「学習のまとめ」や「力だめし」「みんなで探Qクラブ」が配置され、自然事象についての理解を深める内容になっている。
3 内 容 に 関 する 配 慮 事 項	○ 「つながる学び」や「発展－高校生物」等を配置し、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。 ○ SDGs に関連するコーナーにマークを付けたり、コラムを配置したりして、理科と社会とのつながりや科学技術の有用性がわかるよう配慮されている。 ○ 各実験・観察の手順においては具体的な注意点が赤字で説明され、注意・安全マークがアイコンと文字でも示されるなど、事故の防止等に配慮されている。
4 分 量	○ 各分野・各領域の内容に偏りなく適切に配分されている。 ○ 配当時間は適切である。
5 使 用 上 の 便 宜	○ 「解説動画」「実験動画」「図サポートスライドショー」「Webリンク」「問題」「振り返りシート」「発表スライド」等、多くの内容に二次元コードからアクセスできるようになっている。 ○ 図や写真が大きく詳細であり、内容の理解に役立っている。
6 印 刷 ・ 製 本 等	○ UD フォントを使用しており、内容が伝わりやすい配色やデザインが用いられている。 ○ AB 判であり、表紙は汚れにくい加工が施されている。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

音 樂 科

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
音楽 (一般)	17 教出	017-72 017-83 017-84	音楽のおくりもの

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 学習指導要領の目標と内容を踏まえており、歌唱・創作・鑑賞の各学習をバランスよく取り上げている。 ○ 著作権や自作の創作作品の取り扱いに関する学習が、3年間にわたって発展的に学習できる内容になっている。
2 内 容 の 取 扱 い	○ 「話し合おう」では、グループ学習などの協働的な学びの場が設定できるようになっており、言語活動の充実を図る工夫がされている。 ○ 「比べてみよう」では、楽曲を比較しながらそれぞれの楽曲の音楽的特徴を捉えることができる内容になっている。 ○ 学校の実態や生徒の発達段階に応じて楽曲を選曲できるようにするために、歌唱・合唱教材が豊富に掲載されている。 ○ 教科書に記載されている二次元コードからは、授業で活用できるワークシートや範唱・演奏などの解説動画にアクセスでき、個別最適な学びを支援する内容となっている。 ○ 日本の伝統芸能や民謡において、理解を深めるための解説や語句の説明が丁寧であり、生徒が親しみやすいように五線譜の楽譜が記載されている。 ○ 「学習 MAP」では、領域・分野ごとに学習の内容や目標が明記されており、生徒が見通しをもって学習に取り組むことができる内容になっている。
3 内 容 に 関 する 配 慮 事 項	○ 生徒が楽曲のイメージを想像し、興味をもつことができるような写真や図が、鮮明かつ明瞭に掲載されている。 ○ 教材ごとに新しく学習する音楽記号に着目しやすくするために、ページ番号の上に新出の音楽記号が明記されている。 ○ 多くの教材に道德教育や人権教育との関連が図られた教材が取り入れられている。
4 分 量	○ 全体の分量は、授業時数からみて適切である。
5 使 用 上 の 便 宜	○ 共通歌唱教材については、「日本のうた みんなの歌」として掲載されており、3年間を通してバランス良く授業で取り扱うことができる内容になっている。 ○ 音楽記号や用語を生徒自ら調べやすくするために、巻末の折り込みページにまとめて記載されている。
6 印 刷 ・ 製 本 等	○ AB変型判を採用している。 ○ シンプルなデザインや UD フォントが使用されており、文字・楽譜・写真・挿絵の見やすさに配慮している。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
音楽 (一般)	27 教芸	027-72 027-83 027-84	中学生の音楽

項目	調査の結果
1 内容の範囲 及び程度	○ 学習指導要領の目標と内容を踏まえており、歌唱・創作・鑑賞の各学習をバランスよく取り上げている。 ○ 著作権や自作の作品の取り扱いに関して、発展的に学習することができる内容になっている。
2 内容の取扱い	○ 「学びのコンパス」では、音楽を深く味わうための視点が、音楽を形づくっている要素で掲載されており、主体的・対話的な学習ができるようになっている。 ○ 「Challenge」では、楽曲を比較しながらそれぞれの楽曲の音楽的特徴を捉えることができる内容になっている。 ○ 歌唱・合唱教材の楽曲内容や掲載順序が、生徒の発達の段階に適しており、楽曲数も豊富である。 ○ 教科書に掲載されている二次元コードからは、伴奏・パート音源・映像・創作ツールにアクセスできる。創作ツールでは、音や音楽の繋がりを即興的に演奏しながら創作活動に取り組むことができる内容になっている。 ○ 日本の伝統芸能や民謡などでは、本来の伝承のあり方に基づいて口唱歌や図形譜を使用しており、自国の文化に愛着をもつことのできるような内容になっている。 ○ 「1年間の学習内容」では、教材ごとの「音楽を形づくっている要素」や身につけるべき資質・能力が明確で、見通しをもって学習に取り組むことができる内容になっている。
3 内容に関する 配慮事項	○ 教材に関する説明や年表において、必要な情報が簡潔に示されている。 ○ 教材における着目すべき視点を焦点化するために、音楽を形づくっている要素が教材の学習目標の下に示されている。 ○ 多くの教材に道德教育や人権教育との関連が図られた教材が取り入れられている。
4 分量	○ 全体の分量は、授業時数から見て適切である。
5 使用上の便宜	○ 共通歌唱教材については、「心の歌」として掲載されており、3年間を通してバランス良く授業で取り扱うことができる内容になっている。 ○ 音楽記号や用語が「音楽の約束」として1ページに簡潔にまとめられている。
6 印刷・製本等	○ AB変型判を採用している。 ○ シンプルなデザインやUDフォントが使用されており、文字・楽譜・写真・挿絵の見やすさに配慮している。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
音楽 (器楽合奏)	17 教出	017-72	中学器楽 音楽のおくりもの

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の目標と内容を踏まえており、器楽の学習をする上で適切なものとなっている。
2 内容の取扱い	○ 管楽器、弦楽器、打楽器の演奏の仕方について、詳細で見やすい写真が豊富に掲載されており、学習指導を進める上で適切である。 ○ 教科書の構成については、「吹く楽器」「弾く楽器」で学習内容が分けられており、楽器の構造を理解しながら学習できるようになっている。 ○ それぞれの学習ごとに、身に付けたい知識や技能が適切に示されており、見通しを持って学習に取り組むことができる内容になっている。 ○ 創作教材である「音のスケッチ」では、それぞれの楽器で習得した知識・技能を生かして段階的に創作ができるよう工夫されている。 ○ 「Let's Play!」や「Let's Try!」には練習曲やアンサンブルの曲が豊富に掲載され、発展的に技能を高めることができる内容になっている。
3 内容に関する配慮事項	○ 「吹く楽器・弾く楽器の仲間たち」と題して、世界の様々な楽器が紹介されており、国際理解教育に配慮されている。 ○ 音楽（一般）の教科書との関連曲が掲載されており、興味・関心を高める配慮がされている。
4 分量	○ 全体の分量は、授業時数から見て適切である。
5 使用上の便宜	○ 教科書に掲載されている二次元コードからは、授業で活用できる動画等の資料に、アクセスできるようになっている。
6 印刷・製本等	○ AB変型判が採用されており、情報が読み取りやすい。 ○ シンプルなデザインやUDフォントが使用されており、文字・楽譜・写真・挿絵の見やすさに配慮されている。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
音楽 (器楽合奏)	27 教芸	027-72	中学生の器楽

項目	調査の結果
1 内容の範囲 及び程度	○ 学習指導要領の目標と内容を踏まえており、器楽の学習をする上で適切なものとなっている。
2 内容の取扱い	○ 管楽器、弦楽器、打楽器の演奏の仕方について、詳細な写真と奏法についての詳しい解説が記載されており、学習指導を進める上で適切である。 ○ 教科書の構成が、「西洋の楽器」と「日本の伝統楽器」に分けられており、音楽的な特徴と関連付けながら学習できる内容になっている。 ○ それぞれの曲ごとに、身に付けたい知識や技能が適切に示されており、見通しを持って学習に取り組むことができる内容になっている。 ○ 「学びのコンパス」では、演奏表現を深めるために注目すべき音楽の要素が記載されており、主体的・対話的に学習を進めることができる内容になっている。 ○ 楽器を紹介するページにおいて、演奏場面や同類の楽器を掲載し、楽器を身近なものとして捉えることができる内容になっている。
3 内容に関する 配慮事項	○ 「バンドの世界をのぞいてみよう」「伝統の枠を超えて活躍する和楽器」では、様々な国の楽器や楽曲を取り上げることで、国際理解教育に配慮されている。 ○ 各器楽の題材ごとに、その楽器の代表的な楽曲が掲載されており、興味・関心を高める配慮がされている。
4 分量	○ 全体の分量は、授業時数から見て適切である。
5 使用上の便宜	○ 教科書に掲載されている二次元コードからは、伴奏音源や学習に役立つ資料に、アクセスできるようになっている。
6 印刷・製本等	○ AB変型判が採用されており、情報が読み取りやすい。 ○ シンプルなデザインや UD フォントが使用されており、文字・楽譜・写真・挿絵の見やすさに配慮されている。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

美術科

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
美術	9 開隆堂	009-72 009-82	美術 1 美術 2・3

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 学習指導要領の目標に沿った構成であり、バランスよく題材が設定されている。 ○ 近現代の作家の作品が多く掲載されるとともに生徒作品や制作過程の図版があり、美術の学びを生徒が主体的に取り組めるよう設定されている。
2 内 容 の 取 扱 い	○ 学びの目標が3観点から示され、どのように学びを深めていくかがわかりやすい。また、観点別に造形的な視点を促す問いが設定されており、図版に併記される作者の言葉が創作意欲を刺激するよう工夫されている。 ○ 一つの題材に4ページが割り当てられているものが多く、前半2ページには、作品の鑑賞から主題を生み出せる工夫や技法に対する記述があり、制作に意欲的に取り組めるようになっている。また、後半2ページには発展的な資料や図版を用いて学びが深まるようになっている。 ○ 日本の文化や作品を多く取り上げるとともに、美術館や博物館との連携を図る内容を盛り込み、生涯にわたって美術を愛好する心情を育成する工夫がなされている。 ○ 二次元コードによるデジタルコンテンツは、主に導入時に活用できる内容になっている。また、題材によっては技法についての動画も準備されており、ICTの効果的な活用を促している。
3 内 容 に 関 す る 配 慮 事 項	○ SDGsやインクルーシブの視点を盛り込んであり、今日的な教育課題に関する配慮がなされている。
4 分 量	○ 各領域・分野の内容に偏りがなく、系統的に編成されるとともに分量もバランスよく構成されている。
5 使 用 上 の 便 宜	○ 図画工作科と美術科の学習のつながりや関連をわかりやすく示すとともに、主体的に学習に取り組める題材の工夫から学ぶ意欲を自ら高める工夫がなされている。
6 印 刷 ・ 製 本 等	○ 表紙に立体的な加工が施されており、美術の学習を進めるにあたり、触感からの創作意欲を刺激する工夫がなされている。また、全ページにわたって艶消し加工が施してある。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
美術	38 光村	038-72 038-73 038-82	美術1 美術1 資料 美術2・3

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の目標に沿った題材が設定されており、全体を通してA表現とB鑑賞の指導を一体化させ、発達段階に応じた内容構成になっている。 ○ 美術における知識・技能を支える内容を別冊に記載し、必要に応じて活用できるよう工夫されている。
2 内容の取扱い	○ 美術用語や制作過程、歴史的な背景の解説が提示されるとともに、生徒の視点から「みんなの工夫」として、構想の方法や広げ方の例示を盛り込むことで学びを深める工夫がなされている。 ○ 全体を通して表現と鑑賞の一体化を意識した構成となっている。各題材において、鑑賞から入り表現へとつないでおり、随所に造形的な視点を増やしていく問いや知識・技能を培う資料が盛り込まれている。 ○ 自国文化への興味・関心を高めるために、紙質を変化させるなど視覚や触覚から感じ取れるよう配慮された内容になっている。 ○ 二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツは主に生徒作品や参考作品であり、発想・構想場面で有効なものとなっている。また、個別の学習を支える動画コンテンツ（技法等）を掲載するとともに、鑑賞の題材では拡大したり書き込んだりできるツールも掲載している。
3 内容に関する配慮事項	○ 平和や人権問題、環境や伝統文化、多様性など幅広い今日的な課題が盛り込まれている。
4 分量	○ 各領域・分野の内容に偏りがなく、系統的に編成されているとともに分量もバランスよく構成されている。
5 使用上の便宜	○ 美術科の学習に対する意欲を喚起する導入のページが充実しており、図画工作科との関連と小学校で培った学習内容を発展させていくことができるよう工夫されている。
6 印刷・製本等	○ 精細なカラー印刷で、作品の持つダイナミックさや繊細なタッチを表現したり、見開きのページを多用したりすることでより実感を伴えるようになっている。また、作品によって紙質を変えることでより深く作品を味わえるよう工夫されている。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
美術	116 日文	116-72 116-83 116-84	美術1 美術との出会い 美術2・3上 学びの実感と深まり 美術2・3下 学びの探求と未来

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の目的に沿った構成であり、参考になる生徒作品も多く掲載されている。 ○ 絵や彫刻、デザインや工芸など、表現における多様な分野の題材が系統的に設定されている。
2 内容の取扱い	○ 造形的な視点について理解を促すために学びの目標が明確に示されており、様々な視点から考えるヒントとなる図版が大きく配置されることや新たな視点を促す問いかけが随所にみられる。 ○ 表現や鑑賞の主要な題材との出会いからどのように学ぶかについての道標となる内容を掲載しており、より深い学びにつながるよう工夫されている。 ○ 3分冊構成となっており、発達段階を考慮した内容及び系統立てられた題材設定で自ら学びに向かいやすい。また、内容についてじっくりと向き合えるように白地を基調とすることで、余白を十分に取り整理された紙面構成となっている。 ○ アイコンでタブレット PC を活用するポイントを示している。また「学びのはじめに」と題したデジタルコンテンツで学びを個別に深めていく工夫がなされている。
3 内容に関する配慮事項	○ 問題解決や地域社会にかかわる題材から、自らと社会のつながりを学習を通して考えることができる工夫がなされている。
4 分量	○ 各領域・分野の内容に偏りがなく、系統的に編成されているとともに分量もバランスよく構成されている。
5 使用上の便宜	○ 図画工作科から美術科への移行を複数ページにわたって取り上げている。題材名が工夫されており、生徒の意欲を喚起するとともに作品の鑑賞から主題を生み出す工夫がなされている。
6 印刷・製本等	○ 見開きページにおいて感動が実感できる図版の工夫や大きな図版から新たな気づきを得られるよう工夫されている。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

保健体育科

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
保健体育	2 東書	002-72	新編 新しい保健体育

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、適切に編集されている。 ○ 各学年の生徒の発達段階に即したものとなっており、主体的・対話的で深い学びになるように編集されている。
2 内 容 の 取 扱 い	○ 体育分野及び保健分野が学年別に編集されており、3年間の見通しを持って学習できるように構成されている。 ○ 1単位時間の学習が①見つける ②課題の解決 ③広げるで配置され、主体的に考えられる構成となっている。 ○ 学習内容に関連した口絵や章末資料、二次元コードによるデジタルコンテンツ、読み物で、今日的な課題に関わる資料が掲載されている。 ○ 本文中の内容を補足、強化するために、本文の内容に対応した資料や二次元コードによるデジタルコンテンツ(「Dマーク」)が多数掲載されている。 ○ 健康や安全に関する「巻末スキルブック」が新設され、生涯にわたって役立つスキルがまとめて掲載されている。 ○ ストレスへの対処の方法では「リラクセーションの方法」、応急手当の意義と方法では「心肺蘇生法」「きずの手当」の実習が巻末スキルブックに示されている。
3 内 容 に 関 する 配 慮 事 項	○ 小・中・高を通じた学習の系統性に配慮し、その章の学習に関連する小学校と高等学校の学習内容が明示されている。 ○ 興味・関心を高め、知識をさらに広げることができる「章末資料」や「読み物資料」が多数掲載されている。 ○ 学習のつながりを示すために、他教科と関連する学習内容や関連する保健体育の学習内容が示されている。
4 分 量	○ AB判194ページで、各観点が適切に配分されている。 ○ 見開き2ページが1単位時間での指導内容となっている。
5 使用上の便宜	○ レイアウトに沿って学習することで、授業の見通しを持つことができるようになっている。 ○ UDフォントが採用されている。 ○ 写真、イラスト、挿絵等が豊富に掲載されている。
6 印刷・製本等	○ 紙質良好で、明るく見やすいものとなっている。 ○ 製本は丈夫で3年間の使用に耐えられるものとなっている。 ○ 文字の大きさや行間も適切で、多くの漢字にルビを付しており、外国籍の生徒への配慮がされている。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
保健体育	4 大日本	702	中学校保健体育

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、適切に編集されている。 ○ 各学年の生徒の発達段階に即したものとなっており、主体的・対話的で深い学びになるように編集されている。
2 内 容 の 取 扱 い	○ 体育分野及び保健分野が学年別に編集されており、3年間の見通しを持って学習できるように構成されている。 ○ 1単位時間が①「つかもう」②「やってみよう」③「活用して深めよう」で配置され、思考力、判断力、表現力等を育成されるように構成されている。 ○ 学習支援コンテンツが新設され CBT 形式の確認テストが実施可能であり解答は自動判定され効率的に個別学習が行える。 ○ 現代的な諸課題等が口絵や章中に挙げられており、その対応法について学習できるようになっている。 ○ デジタルコンテンツが豊富に用意され、対応するページに「Web マーク」が示されている。 ○ ストレスの対応では、リラクセーションの方法が実習として示され、応急手当の実習では、折り込みを広げて全体を確認しながら実習ができるよう工夫されている。
3 内 容 に 関 する 配 慮 事 項	○ 各章のはじめに系統的・発展的な学習ができるよう、小学校と高等学校との関連が明示されている。また、家庭や地域における健康や安全について考えるための「家」・「地域」マークが掲載されている。 ○ 章末では重要語句や要点の確認が行えるように編集されており、知識の定着を図りやすくしている。 ○ 学習のつながりを示すために、他教科と関連する学習内容や関連する保健体育の学習内容が示されている。
4 分 量	○ B5 変型判 171 ページで各観点が適切に配分されている。 ○ 見開き 2 ページが 1 単位時間での指導内容となっている。
5 使 用 上 の 便 宜	○ 本文が左のページに、本文に対応した資料が右のページに配置されている。統計資料が多く掲載され、統計資料を読み解く力を育むようにされている。 ○ UD フォントが採用されている。 ○ 写真、イラスト、挿絵等が豊富に掲載されている。
6 印 刷 ・ 製 本 等	○ 紙質良好で、明るく見やすいものとなっている。 ○ 製本は丈夫で 3 年間の使用に耐えられるものとなっている。 ○ 文字の大きさや行間も適切である。多くの漢字にルビを付しており、外国籍の生徒へ配慮がされている。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
保健体育	50 大修館	050-72	最新中学校保健体育

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、適切に編集されている。 ○ 「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3つの資質・能力を育むために主体的・対話的で深い学びになるように編集されている。
2 内容の取扱い	○ 体育分野及び保健分野が学年別に編集されており、3年間の見通しを持って学習できるように構成されている。 ○ 1単位時間の学習の流れが、①つかむ、②身につける・考える、③まとめる・振り返る、の3つの段階で見通しの立てやすい構成になっている。 ○ 各章の「章のまとめ」で、学んだ知識の確認や学習活動振り返りを行うことで、実生活につながるよう設定されている。 ○ 「性の多様性」「健康課題」「防災教育」など現代的な課題や視点から学習できるよう資料が多数掲載されている。 ○ 各章に二次元コードから学習した内容を3択クイズとして確認できるよう工夫されている。「動画コンテンツ」や「Web保体情報館」「Webワークシート」が設けてあり、内容を深めたり調べ学習に活用したりできるようになっている。 ○ ストレスの対処の仕方に関してはリラクセーションの方法について、応急手当に関しては心肺蘇生法ときずの手当の仕方について、技能ポイントを示しながら写真とイラストで解説されている。
3 内容に関する配慮事項	○ 各章の初めに「章とびら」で、学習内容と実生活の関連を示し、小学校・高等学校との系統性が明示されている。写真等の掲載により本章の内容が大まかにつかめるようになっている。 ○ 学びを深める手がかりとなる「特集資料」を設けており、学んだ内容を踏まえた興味関心が高まる資料が掲載されている。 ○ 教科書の他のページの内容や他教科と関連する内容がある場合は、「関連」「他教科」のマークで示している。
4 分量	○ AB判191ページで、各観点が適切に配分されている。 ○ 見開き2ページが1単位時間での指導内容となっている。
5 使用上の便宜	○ 主体的な学びを促すために、「この教科書の使い方」「保健体育の学び方」「デジタル教材の使い方」が明記されている。 ○ UDフォントが採用されている。 ○ 写真、イラスト、挿絵等が豊富に掲載されている。
6 印刷・製本等	○ 紙質良好で、明るく見やすいものとなっている。 ○ 製本は丈夫で3年間の使用に耐えられるものとなっている。 ○ 文字・図・写真も鮮明で、文字の大きさや行間も適切である。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
保健体育	224 学研	224-72	新・中学校保健体育

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、適切に編集されている。 ○ ウェルビーイングに向かう力を育むために、保健体育への興味関心を高め、協働的な学びを充実させながら自らの課題の発見・解決につながるよう編集されている。
2 内容の取扱い	○ 体育分野及び保健分野が学年別に編集されており、3年間の見通しを持って学習できるように構成されている。 ○ 1単位時間での学習が、①ウォームアップ（課題の発見）②エクササイズ（課題の解決）③学びを生かす（学びの活用）の主体的な学びを促す課題解決型で構成されている。 ○ 各章の「章のまとめ」で、学んだ知識の確認や学習活動振り返りを行うことで、実生活につながるよう設定されている。 ○ 1時間の学習への取り組み度合いを「とりくメーター」で可視化し、自己評価できるように構成されている。 ○ 「章デジ」を各ページに設けており、二次元コードからアクセスして、データ・動画等の資料、教材、ワークシートなど生徒自ら教材を選び活用しながら学習できるようになっている。 ○ ストレスへの対処では「リラクセーションの方法」、応急手当の意義と基本では「心肺蘇生方法」「きずの手当」が実習として示されている。
3 内容に関する配慮事項	○ 各章のはじめに系統的・発展的な学習ができるよう、小学校と高等学校との関連が明示されている。 ○ 章末に「探求しようよ！」を設定して、発展的・探究的な学びにつながるようになっている。 ○ 教科横断的な学びの観点から、体育分野、保健分野、他教科などの「学習内容の関連」をキーワードで設け、知識や情報を関連させながら学びやすいように整理されている。
4 分量	○ AB判200ページで、各観点が適切に配分されている。 ○ 見開き2ページが1単位時間での指導内容となっている。
5 使用上の便宜	○ 主体的な学びを促すために「この教科書の使い方」「さまざまな学習方法」「課題学習の整理の仕方の例」が示されている。 ○ UDフォントが採用されている。 ○ 写真、イラスト、挿絵等が豊富に掲載されている。
6 印刷・製本等	○ 紙質良好で、明るく見やすいものとなっている。 ○ 製本は丈夫で3年間の使用に耐えられるものとなっている。 ○ 文字・図・写真も鮮明で、文字の大きさや行間も適切である。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

技術・家庭科

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
技術・家庭 (技術分野)	2 東書	技術 002-72	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology

項目	調査の結果
1 内容の範囲 及び程度	○ 学習指導要領に沿った配列、示された教科の目標を十分満足させる内容である。また、教科の履修時間を考えた構成であり、中学生段階に適した内容の記述である。
2 内容の取扱い	○ ガイダンスについては、生活の中の身近な技術と技術発展の歴史から、これからの学習の意味づけを行う流れとなっている。 ○ 基礎・基本のページが設けられており、簡単にできる性質実験等を紹介、工程毎に分類・整理した説明をしている。また、実践や体験については、各内容に等しく事例を紹介しており、作業工程が生徒自身で調べられるよう工夫している。 ○ 技術に携わる人を「技術の匠」として紹介し、技術の現場の人の思いを知らせ、社会と学習とのつながりを意識できるようになっている。さらに、AIやデータサイエンスなどの最新技術の他、Society 5.0の実現につながる内容もあわせて紹介している。
3 内容に関する 配慮事項	○ 系統的、発展的な指導ができるよう配慮がされているとともに、履修時間を考え、文章を簡潔に整理し、資料についても生徒が理解しやすい構図にして説明している。 ○ 問題解決については、各内容に問題解決例を複数掲載しており、生徒が主体的に、問題を解決する道筋が示されている。 ○ 人権や福祉、特別支援教育に配慮されている。
4 分量	○ 教科の年間授業時数で適切に指導できる範囲で内容をまとめている。 ○ 各内容の分量は、時数、学期、学年配分などに配慮し、偏りなく扱えるようになっている。
5 使用上の便宜	○ 資料や挿絵、写真、図については、学習が深まるように配置されている。 ○ 二次元コードがページに配置されており、資料や動画などのコンテンツにリンクできるようになっている。
6 印刷・製本等	○ 写真や図が鮮明に見えるよう印刷されている。 ○ 製本は極めて堅牢で、長期の使用に耐えるものであり、UDフォントを使い、すべての人に読みやすい配慮がされている。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
技術・家庭 (技術分野)	6 教図	技術 006-73 006-74	新技術・家庭 技術分野 明日を創造する 新技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト

項目	調査の結果
1 内容の範囲 及び程度	○ 学習指導要領に沿った配列、示された教科の目標を十分満足させる内容である。また、教科の履修時間を考えた構成であり、中学生段階に適した内容の記述である。
2 内容の取扱い	○ ガイダンスについては、簡潔に説明されており、問題解決のプロセスが分かるようにしている。また、身の回りの技術を社会的・環境的・経済的な視点で捉え、活用する能力を育成する内容につながるよう意識されている。 ○ 基礎的・基本的な知識・技能の習得については、各内容に偏ることなく簡潔に説明している。また、実践や体験については、具体例を写真やイラストを用いて、丁寧に説明している。 ○ 日本が誇る技術を取り上げ、日本の技術の発展や世界に貢献していることを紹介する内容になっている。さらに、スマートフォンやタブレットなどを取り上げることで、技術を身近に感じられるような内容になっている。
3 内容に関する 配慮事項	○ スキルアシストという基礎技能をまとめた別冊を準備しており、作業の時に活用しやすいよう工夫している。また、各内容の終わりに、まとめのページを設定しており、資質能力別の問いが準備されている。 ○ 問題解決については、問題解決を促すページを設け、丁寧にまとめており、簡単な例を紹介している。 ○ 人権や特別支援教育に配慮されている。さらに、伝統的な行事や生活への結びつきへの配慮もされている。
4 分量	○ 教科の年間授業時数で適切に指導できる範囲で内容をまとめている。 ○ 各内容の分量は、時数、学期、学年配分などに配慮し、偏りなく扱えるようになっている。
5 使用上の便宜	○ 資料や挿絵、写真、図については、学習が深まるように配置されている。 ○ 二次元コードがページに配置されており、資料や動画などのコンテンツにリンクできるようになっている。
6 印刷・製本等	○ 写真が鮮明に見えるよう印刷されている。 ○ 製本は極めて堅牢で、長期の使用に耐えるものであり、UDフォントを使い、すべての人に読みやすい配慮がされている。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
技術・家庭 (技術分野)	9 開隆堂	技術 009-72	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 学習指導要領に沿った配列、示された教科の目標を十分満足させる内容である。また、教科の履修時間を考えた構成であり、中学生段階に適した内容の記述である。
2 内 容 の 取 扱 い	○ ガイダンスについては、身近に用いられている技術の紹介や学習の流れを4コマ漫画で説明するなど、生徒が学習に興味をもって向き合えるよう工夫している。また、技術を評価することについて、トレードオフの視点をもった説明が示されている。 ○ 基礎的・基本的な事項を習得する上で、内容ごとに整理されている。さらに、技能の習得については、仕組みや作業、素材について細かく説明している。また、実践や体験については、各内容について均等に例を挙げ、実習や体験ができるようにしている。 ○ 各内容は、「基礎的・基本的な技術の習得」から、「技術を活用した問題解決」、「技術と私たちの未来」へと系統的に組織されている。
3 内 容 に 関 する 配 慮 事 項	○ 系統的、発展的な指導ができるよう配慮がされているとともに、履修時間を考え、文章を簡潔に整理し、資料についても生徒が理解しやすい構図にして説明している。 ○ 問題解決については、冒頭で問題解決の流れを示し、流れに沿って考えることができるよう内容を準備している。 ○ 人権や特別支援教育に配慮されている。
4 分 量	○ 教科の年間授業時数で適切に指導できる範囲で内容をまとめている。 ○ 各内容の分量は、時数、学期、学年配分などに配慮し、偏りなく扱えるようになっている。
5 使 用 上 の 便 宜	○ 資料や挿絵、写真、図については、学習が深まるように配置されている。 ○ 二次元コードがページに配置されており、資料や動画などのコンテンツにリンクできるようになっている。
6 印 刷 ・ 製 本 等	○ 写真等が鮮明に見えるよう印刷されている。 ○ 製本は極めて堅牢で、長期の使用に耐えるものであり、UDフォントを使い、すべての人に読みやすい配慮がされている。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
技術・家庭 (家庭分野)	2 東書	家庭 002-72	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して

項目	調査の結果
1 内容の範囲 及び程度	○ 学習指導要領の目的や内容、取り扱いが明確に整理されている。
2 内容の取扱い	○ 「生活の課題と実践」では、全ての実践例が問題解決のプロセスに沿って実践できるようしており、その後の学習や生活の場で生かすことができるように工夫されている。 ○ 各内容を目標、導入、学習課題、本文、図版、活動の流れで統一し、「学習のまとめ」で自己評価する構成となっている。 ○ 日本や郷土に関する資料が多く取り上げられており、「伝統文化」マークで示している。 ○ 「さまざまな今日的課題につながる工夫」として、各編末に「持続可能な社会の構築」に関する章を新設し、巻末に家庭分野の学習とSDGsとの関連を記載している。
3 内容に関する 配慮事項	○ 他教科や道徳との関連を「他教科リンク」マークで示している。小学校、高等学校の系統性や発達段階を踏まえて、自立から共生へと向かう構成となるよう配慮されている。 ○ 巻末に防災関連の特設ページが設けられ、防災教育への配慮がされている。 ○ 実習前、実習中、実習後における注意事項が、巻頭に明記されており、安全に実習することができるよう配慮されている。
4 分量	○ 基礎的・基本的な知識・技能が習得できるように、適切な分量に配分されている。 ○ 学習指導要領の内容A・B・Cを関連付けて学習できるように工夫した構成で、無理なく基礎・基本をおさえた学習ができるよう配慮されている。
5 使用上の便宜	○ 全てのページに二次元コードが記載され、授業づくりや多様な学びに活用できる。さらに家庭でも実践できるような工夫がされている。 ○ 小学校や他教科への結びつきなどの表示や、単元ごとにおさえるべきキーワードが提示されており、重要な言葉が確認できるように配慮されている。
6 印刷・製本等	○ 書体はUDフォントを使用している。また、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色とデザインが工夫され、生徒の負担にならず読みやすいように配慮されている。 ○ 製本は極めて堅牢で、水に強く、長期間の使用に耐えることができる加工が施されている。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
技術・家庭 (家庭分野)	6 教図	家庭 006-72	新技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する

項目	調査の結果
1 内容の範囲 及び程度	○ 学習指導要領の目的や内容、取り扱いが明確に整理されている。
2 内容の取扱い	○ 学習指導要領に沿った構成となっており、知識・技能を身に付ける導入や思考力・判断力・表現力を身に付ける学習を繰り返し、問題解決的な学習を効果的に進めることができる。 ○ 「生活の課題と実践」について、複数の項目を組み合わせた課題例を巻末にまとめて、生徒が自ら課題を設定し、取り組むことができるように工夫されている。 ○ 少子高齢化社会の進展、持続可能な社会の構築等の現代的な課題を見据えた題材など、幅広く取り扱われている。 ○ 日本の伝統的な年中行事や衣食住に関わる日本の伝統文化が、巻頭にまとめて掲載されている。
3 内容に関する 配慮事項	○ 該当の学習内容と関連するページに「関連」マークを示しており、各教科や小学校、高等学校との学習と関連しながら学習できるよう配慮されている。 ○ 実習時の服装や取り組み方の注意点をまとめて取り上げており、安全教育の対応がなされている。 ○ 災害時の対応について実習・製作例が多く取り上げられており、生徒が関心をもてるように配慮されている。
4 分量	○ 基礎的・基本的な知識・技能が習得できるように、適切な分量に配分されている。 ○ 学習指導要領の内容A・B・Cを関連付けて学習できるように工夫した構成で、無理なく基礎・基本をおさえた学習ができるよう配慮されている。
5 使用上の便宜	○ 主体的に学べるようなワークや学習をサポートするような動画が見られるなどの二次元コードが記載され、コンテンツの提供が充実している。 ○ 単元ごとにおさえるべきキーワードや自己評価をする項目が提示されており、重要な言葉が確認できるように配慮されている。
6 印刷・製本等	○ 書体はUDフォントを使用している。また、印刷は鮮明で、明るく目にやさしい色使いになっており、生徒の負担にならず読みやすいよう配慮されている。 ○ 製本は極めて堅牢で、水に強く、長期間の使用に耐えることができる加工が施されている。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
技術・家庭 (家庭分野)	9 開隆堂	家庭 009-72	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支えあう生活へ

項目	調査の結果
1 内容の範囲 及び程度	○ 学習指導要領の目的や内容、取り扱いが明確に整理されている。
2 内容の取扱い	○ 各内容を学習目標、導入課題、本文と展開し、最終章での「学習のまとめ」で自己評価する構成となっている。 ○ 学習したことを生活に生かし課題をもって主体的な取り組みができるよう、多様な課題例を取り上げている。 ○ 各内容の章末に「持続可能な〇〇生活」の節が設けられ、SDGsについて考えられる内容となっている。 ○ 日本の生活や文化について、衣食住の各内容で取り上げており、「伝統文化」マークで示している。また、資料は実物をイメージすることができるような写真やイラストが用いられている。
3 内容に関する 配慮事項	○ 該当の学習内容と関連するページに「リンク」マークを示しており、他教科・他分野、小学校の学習と関連しながら学習できるように配慮されている。 ○ 防災関連の実習・製作例も多く取り上げており、防災教育への配慮がされている。 ○ 「安全」マーク、「衛生」マークが設けられており、調理実習や製作実習の際に基本事項が確認できる。
4 分量	○ 基礎的・基本的な知識・技能が習得できるように、適切な分量に配分されている。 ○ 学習指導要領の内容A・B・Cを関連付けて学習できるように工夫した構成で、無理なく基礎・基本をおさえた学習ができるよう配慮されている。
5 使用上の便宜	○ 実習や製作の内容に二次元コードが記載され、コンテンツの提供が充実している。 ○ 科学的な資料を多く用いて、内容の理解が深まるよう工夫されている。
6 印刷・製本等	○ 書体はUDフォントを使用している。また、カラーユニバーサル視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるように配慮されている。 ○ 製本は極めて堅牢で、水に強く、長期間の使用に耐えることができる加工が施されている。
7 その他特記事項	○ 特記事項なし。

外国語(英語)科

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
外国語 (英語)	2 東書	002-72 002-82 002-92	NEW HORIZON English Course

項目	調査の結果
1 内容の範囲 及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、適切に編集されている。 ○ 生徒の発達段階に応じて、適切に編集されている。
2 内容の取扱い	○ 各学年・各学期の目標を Can-Do リストとして示し、明確な到達点に向かって学習が進められるように構成されている。 ○ 目的・場面・状況に応じて英語で意思や情報を伝え合う言語活動など、対話的学習が設定されている。 ○ 本文を読む前に Before You Read というリスニング音声を聞くことで、生徒が目的意識を持って本文読解に取り組めるように構成されている。 ○ Stage Activity に向けて活動を系統的に積み上げ、パフォーマンス評価を行えるように構成されている。 ○ 主要単元で知識・技能の習得と活用を繰り返しながら思考力・判断力・表現力等の育成が目指せるよう設定されている。
3 内容に関する 配慮事項	○ 各 Unit の構成を同じにし、学習の流れに見通しを持たせることや既習事項をスパイラルに学習できるように配慮されている。 ○ 1 年生では、小学校の言語材料や単語等、余裕を持って振り返ることに配慮され、3 年生では段階的にリーディングの語数が増やされ、高等学校への接続に配慮されている。
4 分量	○ 標準授業時数に見合ったページ数である。 ○ 各学年とも適切な分量になっている。
5 使用上の便宜	○ デジタルクイズなどデジタルコンテンツにアクセスできるポイントが種類別マークで視覚的に示されている。 ○ 協働して問題解決を行う対話的な学びが実現できるようにグループでの発表活動などが教科書全体で豊富に配置されている。
6 印刷・製本等	○ サイズは A4 判で、文字の大きさや書体、行間および製本の様式、材質等が適切である。
7 その他特記事項	○ 学習者用デジタル教科書では、映像や音声などにアクセスでき、学校や家庭での学習で活用できるように配慮されている。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
外国語 (英語)	9 開隆堂	009-72 009-82 009-92	Sunshine English Course

項目	調査の結果
1 内容の範囲 及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、適切に編集されている。 ○ 生徒の発達段階に応じて、適切に編集されている。
2 内容の取扱い	○ Small Talk を積み上げていくことで Our Project において、即興で質問やコメントをするなどのやり取りをする力が育成できるよう構成されている。 ○ コミュニケーション能力を育成するために、Our Project を軸とし4技能5領域を統合的に活用する場面が設定されている。 ○ 基礎的な知識・技能を習得できるように、新出表現を漫画形式で示し、目的・場面・状況が理解できるよう構成されている。 ○ 本文理解後の Review & Retell と Action での自己表現活動を通じて、思考力・判断力・表現力が育成できるよう構成されている。 ○ 各単元末「英語早わかり」は、学んだことを整理し、理解を深めることができるよう配置されている。
3 内容に関する 配慮事項	○ Our Project において、コミュニケーションのテーマが自分のこと、日本のこと、世界のこと、地球のことと広い視野で考えることができる内容となっている。 ○ Small Talk では小学校での既習表現を使う活動が設定されており、生徒が繰り返し英語に触れるよう配慮されている。
4 分量	○ 標準授業時数に見合ったページ数である。 ○ 各学年とも適切な分量になっている。
5 使用上の便宜	○ 学校と家庭学習で使用できる二次元コードによるデジタルコンテンツが充実している。 ○ 1年生にはアクションカード、3年生には Further Reading が設定されており、帯学習では Small Talk 表現集を活用でき有用である。
6 印刷・製本等	○ サイズは A4 判で、文字の大きさや書体、行間および製本の様式、材質等が適切である。
7 その他特記事項	○ 学習者用デジタル教科書では、ふりがな表示や機械音声での読み上げ機能が搭載されており、学校や家庭での学習で活用できるように配慮されている。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
外国語 (英語)	15 三省堂	015-72 015-82 015-92	NEW CROWN English Series

項目	調査の結果
1 内容の範囲 及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、適切に編集されている。 ○ 生徒の発達段階に応じて、適切に編集されている。
2 内容の取扱い	○ 各学期および各学年において見通しをもって学習ができるよう「Can-Do リスト」が配置されている。 ○ 「書くこと」の内容においては、自分のアイデアを出したり、チャートを使った文章構成の検討ができたりする等スモールステップで学習できるように構成されている。 ○ 「話すこと」の内容においては、活動の際にモデル動画を視聴することができる上に、英語を使う身近な場面を設定した指導ができるように構成されている。 ○ 「読むこと」の内容においては、様々なジャンルの題材が取り上げられ、各パートが一貫した内容構成となっている。 ○ 「聞くこと」の内容においては、取り扱う題材が日常生活に即した内容になっており、生徒たちの興味・関心を高める工夫がされている。
3 内容に関する 配慮事項	○ 小学校から中学校、そして高等学校の学習内容への系統的・発展的な指導ができるよう、段階的に英文を長くする等工夫されている。 ○ 既習事項を活用し、Goal Activity につながるように構成されている。
4 分量	○ 標準授業時数に見合ったページ数である。 ○ 各学年とも適切な分量になっている。
5 使用上の便宜	○ 題材や挿絵の人物等について、性別や出身地域、人種等に偏りがないように配慮されている。 ○ 教科書の随所に二次元コードがあり、生徒たちの自主的・自発的な学習を促す工夫がされている。
6 印刷・製本等	○ サイズは A4 判で印刷が鮮明であり、文字の大きさや書体、行間および製本の様式、材質等が適切である。
7 その他特記事項	○ 学習者用デジタル教科書では、モデル動画や英単語の確認することができる等、学校や家庭での学習で活用できるように配慮されている。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
外国語 (英語)	17 教出	017-72 017-82 017-92	ONE WORLD English Course

項目	調査の結果
1 内容の範囲 及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、適切に編集されている。 ○ 生徒の発達段階に応じて、適切に編集されている。
2 内容の取扱い	○ 見通しを持って学べ、実際にコミュニケーションを行う際に使える英語力をつける工夫がされている。 ○ 「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」の各領域別の目標が達成できるように構成されている。 ○ 言語材料・言語活動のそれぞれについて、発達段階に適合した内容が選択され、配列されている。 ○ ペアワークによる口頭練習が継続してでき、グループワークで効果的に取り組める活動を多く取り入れた構成となっている。 ○ 他教科とのつながりがある題材が多く、単元で取り入れられる設定となっている。
3 内容に関する 配慮事項	○ lesson の冒頭に「単元の目標」を示し、「外国語を使って何ができるようになるか」を明確にし、コミュニケーションの目的を意識しつつ、lesson 内の活動を進めていけるように配慮されている。 ○ 文構造・文法は、小学校での学習を定着させた上で、中学校での新出事項にスムーズに移行できるように配慮されている。
4 分量	○ 標準授業時数に見合ったページ数である。 ○ 各学年とも適切な分量となっている。
5 使用上の便宜	○ 「言語の働き」と「言語の使用場面」が明確に記されており、言語活動を通して、実際のコミュニケーションにおける使用場面が体験的に理解できる。 ○ 音声やワークシートなどの良質なデジタルコンテンツを教室での協働学習・個別学習で活用できるように構成されている。
6 印刷・製本等	○ サイズはAB判で、文字の大きさや書体、行間および製本の様式、材質等が適切である。
7 その他特記事項	○ 学習者用デジタル教科書では、ネイティブ音声を、文字をハイライト表示しながら聞くことができ、学校や家庭での学習で活用できるように配慮されている。

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
外国語 (英語)	3 8 光村	038-72 038-82 038-92	Here We Go! ENGLISH COURSE

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、適切に編集されている。 ○ 生徒の発達段階に応じて内容が構成されている。
2 内 容 の 取 扱 い	○ 学習過程や4技能のバランスが適切に構成されている。 ○ 学習指導要領に示されている教科の目標を達成するためにどの内容も不足ない構成である。 ○ 日常生活ですぐに活用することができる英語表現が多く含まれ、生徒は授業を受けながら自分自身の日常を想起しやすい構成となっている。 ○ 各 Unit の Goal や You can do it! では、様々な形式で目的をもって自己表現できるよう設定されている。 ○ 帯学習のための教材の内容が豊富で、生徒が必要に応じて教科書を使って調べ、学習するという学習習慣を身に付けさせることにもつながる工夫がなされている。
3 内 容 に 関 す る 配 慮 事 項	○ 人種、国籍、文化、世代、目が見えない人など、様々な人間の暮らしがあることがわかる配慮が取り入れられている。 ○ 小学校高学年での外国語と中1での学びが連結されており、中学校で英文法や熟語などを学ぶことで表現内容が、より具体的になる事を実感できる構成になっている。
4 分 量	○ 標準授業時間数に見合ったページ数である。 ○ 各学年とも適切な分量になっている。
5 使 用 上 の 便 宜	○ テーマや言語の使用場面によって書体が異なり、内容について印象づけるつくりである。 ○ 学びの目的に合わせて活用できる二次元コードによるデジタルコンテンツが充実している。
6 印 刷 ・ 製 本 等	○ サイズは AB 判で、文字の大きさや書体、行間および製本の様式、材質等が適切である。
7 その他特記事項	○ 学習者用デジタル教科書では、デジタルコンテンツにアクセスできることで、学校や家庭での学習に活用できるように配慮されている。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
外国語 (英語)	61 啓林館	061-72 061-82 061-92	BLUE SKY English Course

項目	調査の結果
1 内容の範囲 及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、適切に編集されている。 ○ 生徒の発達段階に応じて、適切に編集されている。
2 内容の取扱い	○ 生徒の興味・関心を引きつける日常的な話題から始まり、学年が進むにしたがって、徐々に社会的な話題に触れられるよう生徒の発達段階に応じた題材が取り扱われている。 ○ 学習の見通しや振り返りができるように、単元の始めに目標が明示されている。 ○ 本文は、学年や Unit が進むにつれ長くなるように構成されている。 ○ 聞く・読む力を育成するために、「概要や要点・詳細・表現」の3ステップで活動に取り組むように構成されている。 ○ 学習事項を振り返ることができるよう、巻末に Can-Do List が記載されている。
3 内容に関する 配慮事項	○ 1年生の Unit5 までが小中接続期になっており、小学校との接続に配慮している。 ○ Let's Talk、Let's Listen、Let's Read などの技能ごとに学習できるコーナーが設置されている。
4 分量	○ 標準授業時数に見合ったページ数である。 ○ 各学年とも適切な分量となっている。
5 使用上の便宜	○ Unit で扱うテーマ・写真・目標を一覧できる「Unit 扉」というページがある。 ○ 新出語句(和訳も確認可能)と本文の音声聞けるスマートフォン・タブレット・PC 対応の二次元コードが配置されている。
6 印刷・製本等	○ サイズは A4 判で、文字の大きさや書体、行間および製本の様式、材質等が適切である。
7 その他特記事項	○ 学習者用デジタル教科書では、単語のフラッシュカードやテキストなどのコンテンツを追加することができ、学校や家庭での学習で活用できるように配慮されている。

道 德 科

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
道徳	2 東書	002-72 002-82 002-92	新編 新しい道徳 1 新編 新しい道徳 2 新編 新しい道徳 3

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に適している。
2 内 容 の 取 扱 い	○ 「いじめのない世界へ」「いのちを考える」について重点的に学習を深められるようユニット化し、学年ごとに連続して復習の教材を設け、継続して考えを深められる構造になっている。 ○ 「情報モラル」「防災」も重要課題とされ、情報化社会や防災に関わる道徳的判断力について考える内容が掲載されている。 ○ 長年親しまれてきた定番教材が多く扱われている。
3 内 容 に 関 す る 配 慮 事 項	○ 教材によって文量を減らすことで読みやすくし、考えたり、話し合ったりする時間が確保できるよう配慮されている。 ○ 終末に、「考えよう」(1問)と「みつめよう」(1問)を設け、道徳的価値について自分事として深められるよう工夫されている。 ○ 各学年で小学校でなじみのある教材を掲載し、小学校での学習が想起できるよう配慮されている。
4 分 量	○ 各学年35時間で使用するうえで適切な分量である。 ○ 各教材は、1時間で扱うのに適した分量である。
5 使 用 上 の 便 宜	○ 各学年の巻頭に「道徳科とは」を掲載し、1年間の学習の見通しを持つことができるよう工夫されている。 ○ 各学年の巻末には、「道徳の学びを振り返ろう」を掲載し、学期ごとの学びを振り返ることができるようになっている。 ○ 各学年の巻末に、気持ちを表現する思考ツールとして「心情円」が付いている。
6 印 刷 ・ 製 本 等	○ 用紙は再生紙が使用されており、カラーユニバーサルデザインの認証マークを取得し、判別しやすい配色を採用している。 ○ 環境に配慮した紙、植物性インキを使用するなどの工夫、配慮がされている。 ○ AB判で製本されている。
7 その他特記事項	○ デジタル教科書には、朗読、動画、写真などのほか、デジタル心情円作成の機能などが設けられている。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
道徳	17 教出	017-72 017-82 017-93	中学道徳1 とびだそう未来へ 中学道徳2 とびだそう未来へ 中学道徳3 とびだそう未来へ

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に適している。
2 内容の取扱い	○ 「いじめをなくそう」「つながり合って生きる」「いのちをかがやかせる」について重点的に学習を深められるようユニット化し、学年ごとに連続して復習の教材を設け、継続して考えを深められる構造になっている。 ○ 「SDGs」も重要課題とされ、持続可能な社会について考える内容が掲載されている。 ○ 長年親しまれてきた定番教材が多く扱われている。
3 内容に関する配慮事項	○ 各教材の導入に、「問い」が設けられ、生徒が1時間の学習を見通しをもって学ぶことができるよう工夫されている。 ○ 終末に、「学びの道しるべ」（3問）を設け、道徳的価値について自分事として深められるよう工夫されている。 ○ 本教材30本と補助教材5本で構成され、補助教材分は他の教材と差し替えることができるよう配慮されている。
4 分量	○ 各学年35時間で使用するうえで適切な分量である。 ○ 各教材は、1時間で扱うのに適した分量である。
5 使用上の便宜	○ 各学年の巻頭に「さあ、道徳を始めよう！」を掲載し、1年間の学習の見通しを持つことができるよう工夫されている。 ○ 各学年の巻末には、「道徳の学びを振り返ろう」を掲載し、学期ごとや1年間の学びを振り返ることができるようになっている。 ○ 本文には、各行に点、5行ごとに行番号がつけられ、内容の指示がしやすい工夫がしてある。
6 印刷・製本等	○ 用紙は再生紙が使用されており、カラーユニバーサルデザインの認証マークを取得し、判別しやすい配色を採用している。 ○ 環境に配慮した紙、植物性インキを使用するなどの工夫、配慮がされている。 ○ B5判で製本されている。
7 その他特記事項	○ デジタル教科書には、総ルビ、分かち書き対応、背景色や文字色の変更などの機能が設けられている。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
道徳	38 光村	038-72 038-82 038-92	中学道徳1 きみがいちばんひかるとき 中学道徳2 きみがいちばんひかるとき 中学道徳3 きみがいちばんひかるとき

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に適している。
2 内容の取扱い	○ 「人権」を柱に「いじめ」「情報モラル」について重点的に学習を深められるようユニット化し、学年ごとに連続して復習の教材を設け、継続して考えを深められる構造になっている。 ○ 「生命の尊さ」「国際理解教育」も重要課題とされ、命の大切さや国際理解について考える内容が掲載されている。 ○ 複数の教材を学校生活を送るうえで必要な心情として整理し、ユニットのテーマとして提示している。
3 内容に関する配慮事項	○ 「チャレンジ」(2か所)では、役割演技などを取り入れ、自ら考えを表現しながら考えを深めていく工夫がされている。 ○ 終末に、「考えよう」(2問)を設け、道徳的価値について多面的・多角的に考えられるように工夫されている。 ○ 各学年で小学校でなじみのある教材を掲載し、小学校での学習が想起できるよう配慮されている。
4 分量	○ 各学年35時間で使用するうえで適切な分量である。 ○ 各教材は、1時間で扱うのに適した分量である。
5 使用上の便宜	○ 各学年の巻頭に「道徳の学習を始めよう」を掲載し、1年間の学習の見通しを持つことができるよう工夫されている。 ○ 各学年の巻末には、「まなびの記録」を掲載し、毎時間ごとや1年間の学びを振り返ることができるようになっている。 ○ 各学年の巻末に、「学びの道具箱」として思考ツールを掲載し、考えを整理したり、話し合いを活性化したりする工夫がされている。
6 印刷・製本等	○ 用紙は再生紙が使用されており、カラーユニバーサルデザインの認証マークを取得し、判別しやすい配色を採用している。 ○ 環境に配慮した紙、植物性インキを使用するなどの工夫、配慮がされている。 ○ B5変型判で製本されている。
7 その他特記事項	○ デジタル教科書には、朗読、動画、写真などのほか、グラフ作成の機能などが設けられている。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
道徳	116 日文	116-73・74 116-83・84 116-93・94	中学道徳 あすを生きる1 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる2 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる3 道徳ノート

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の趣旨をふまえ、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に適している。
2 内容の取扱い	○ 「いじめと向き合う」「よりよい社会を考える」について重点的に学習を深められるようユニット化し、学年ごとに連続して復習の教材を設け、継続して考えを深められる構造になっている。 ○ 「向上心 個性の伸長」「相互理解 寛容」も重要課題とされ、自己肯定感を育む内容が掲載されている。 ○ 長年親しまれてきた定番教材が多く扱われている。
3 内容に関する配慮事項	○ 各教材のタイトルページには、資料の登場人物が掲載され、学習内容が理解しやすいように配慮されている。 ○ 終末に、「考えてみよう」(1問)と「自分に+1」(1問)を設け、道徳的価値について自分事として深められるよう工夫されている。 ○ 「学びを深めるヒント」を設け、話し合いを深めたり、考えを深めたりするための思考ツールが掲載されている。
4 分量	○ 各学年35時間で使用するうえで適切な分量である。 ○ 各教材は、1時間で扱うのに適した分量である。
5 使用上の便宜	○ 各学年の巻頭に「道徳科の学びを始めよう!」を掲載し、1年間の学習の見通しを持つことができるよう工夫されている。 ○ 「道徳ノート」を付属している。また、毎学期の学びを振り返ることができるようになっている。 ○ 「道徳ノート」はデジタル化されている。手書きされた文字をデジタルデータ化する機能も搭載している。
6 印刷・製本等	○ 用紙は再生紙が使用されており、カラーユニバーサルデザインの認証マークを取得し、判別しやすい配色を採用している。 ○ 環境に配慮した紙、植物性インキを使用するなどの工夫、配慮がされている。 ○ B5判で製本されている。
7 その他特記事項	○ デジタル教科書やデジタルノートには、総ルビ、拡大表示、ワークシート等の機能が設けられている。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
道徳	224 学研	224-72	新版 中学生の道徳 明日への扉1
		224-82	新版 中学生の道徳 明日への扉2
		224-92	新版 中学生の道徳 明日への扉3

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の趣旨をふまえ、適切に編集されている。 ○ 内容の程度は、生徒の発達段階に適している。
2 内容の取扱い	○ 「SDGs」「キャリア」「多様性」について重点的に学習を深められるようユニット化し、学年ごとに連続して復習の教材を設け、継続して考えを深められる構造になっている。 ○ 「生命尊重」「情報モラル」も重要課題とされ、命の大切さや情報社会について考える内容が掲載されている。 ○ 3学年を通して、「集団や社会との関わりに関すること」を重点化し、様々な教材を掲載することで、多面的・多角的に考えられるような内容になっている。
3 内容に関する配慮事項	○ 各教材のタイトルページには、資料中の「セリフ」などが掲載され、生徒の興味関心が高まるように配慮されている。 ○ 終末に、「考えよう」(2問)を設け、道徳的価値について多面的・多角的に考えられるように工夫されている。 ○ 各学年に「クローズアップ」(コラム)を17回程度掲載し、考えを広げる工夫がされている。
4 分量	○ 各学年35時間で使用するうえで適切な分量である。 ○ 各教材は、1時間で扱うのに適した分量である。
5 使用上の便宜	○ 各学年の巻頭に、「道徳科で学ぶこと 考えること」を掲載し、1年間の学習の見通しを持つことができるよう工夫されている。 ○ 各学年の巻末には、「学びの記録」「学びのメモ」を掲載し、毎学期の学びを振り返ることができるようになっている。 ○ 各学年に「深めよう」を6回掲載し、教材の内容を深めさせる工夫がされている。
6 印刷・製本等	○ 用紙は再生紙が使用されており、カラーユニバーサルデザインの認証マークを取得し、判別しやすい配色を採用している。 ○ 環境に配慮した紙、植物性インキを使用するなどの工夫、配慮がされている。 ○ AB判で製本されている。
7 その他特記事項	○ デジタル教科書には、題材に関連する動画や資料(写真・年表など)が収録されている。

調査報告書

教科書の種目	発行者	教科書番号	教科書名
道徳	232 あか図	232-73 232-83 232-93	中学生の道徳1 中学生の道徳2 中学生の道徳3

項目	調査の結果
1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領の趣旨をふまえ、適切に編集されている。 ○ 内容程度は、生徒の発達段階に適している。
2 内容の取扱い	○ 「「いじめ」を考える」「情報モラル」「共に生きる社会」「キャリア」について重点的に学習を進められるようユニット化し、継続して考えを深められる構造となっている。 ○ 「いじめ防止」「人権尊重」が重要課題とされ、いじめや人権について考える内容が掲載されている。 ○ 長年親しまれてきた定番教材が多く扱われている。
3 内容に関する配慮事項	○ 各教材のタイトルページには、題材名しか記載されておらず、何について学ぶのか、先入観を持たせないような配慮がされている。 ○ 終末に、「考えを深める」等（2問）と「自分との対話」（1問）を設け、道徳的価値について自分事として深められるよう工夫されている。 ○ 各学年に「Thinking」（コラム）を7回程度掲載し、考えを広げる工夫がされている。
4 分量	○ 各学年35時間で使用するうえで適切な分量である。 ○ 各教材は、1時間で扱うのに適した分量である。
5 使用上の便宜	○ 各学年の巻頭に、「道徳 はじまりの時間」を掲載し、1年間の学習の見通しを持つことができるよう工夫されている。 ○ 各学年の巻末には、「学習の記録」を掲載し、学期ごとや1年間の学びを振り返ることができるようになっている。 ○ 各学年に「マイ・プラス」を3回掲載し、生徒が体験的な学習ができる工夫がされている。
6 印刷・製本等	○ 用紙は再生紙が使用されており、カラーユニバーサルデザインの認証マークを取得し、判別しやすい配色を採用している。 ○ 環境に配慮した紙、植物性インキを使用するなどの工夫、配慮がされている。 ○ B5判で製本されている。
7 その他特記事項	○ デジタル教科書には、総ルビ、分かち書き対応、背景色や文字色の変更などの機能が設けられている。

調 査 報 告 書

教科書の種目	発 行 者	教科書番号	教 科 書 名
道徳	2 3 3 日 科	233-72 233-82 233-92	道徳 中学校 1 生き方から学ぶ 道徳 中学校 2 生き方から見つめる 道徳 中学校 3 生き方から創造する

項 目	調 査 の 結 果
1 内 容 の 範 囲 及 び 程 度	○ 学習指導要領の趣旨をふまえ、適切に編集されている。 ○ 内容程度は、生徒の発達段階に適している。
2 内 容 の 取 扱 い	○ 「いじめ・人権」「キャリア形成」「社会を生きる」のテーマを重点的に配置し、いじめについて考えを深める構造になっている。 ○ 学習指導要領の内容項目（A～D）の順に教材が配置され、4つの項目に沿った4章立てとなっている。 ○ ウェルビーイングカードは、学習指導要領の4つの内容項目（A～D）に分かれ、活用しやすいように配慮されている。
3 内 容 に 関 する 配 慮 事 項	○ 各教材のタイトルページには、題材名しか記載されておらず、何について学ぶのか、先入観を持たせないような配慮がされている。 ○ 終末に、「考えよう」（1問）と「深めよう」（1問）を設け、道徳的価値について自分事として深められるよう工夫されている。 ○ 教科書の順番に縛られることなく、学校の年間行事等にそって自由に教材を選択することができる内容になっている。
4 分 量	○ 各学年35時間で使用するうえで適切な分量である。 ○ 各教材は、1時間で扱うのに適した分量である。
5 使 用 上 の 便 宜	○ 各学年の巻頭に、「「道徳授業」を創り出そう」を掲載し、1年間の学習の見通しを持つことができるよう工夫されている。 ○ 巻末に、ウェルビーイングカードが導入されており、カードをもとに考えを深めることができるように工夫されている。 ○ 終末に、「memo」の欄が設けられ、各時間での自分の考えを整理することができるようになっている。
6 印 刷 ・ 製 本 等	○ 用紙は再生紙が使用されており、カラーユニバーサルデザインの認証マークを取得し、判別しやすい配色を採用している。 ○ 環境に配慮した紙、植物性インキを使用するなどの工夫、配慮がされている。 ○ AB判で製本されている。
7 その他特記事項	○ デジタル教科書には、ページの拡大表示やルビ表示などのほか、ウェルビーイングカードを使える機能が設けられている。

令和7年度使用中学校教科用図書見本本(発行者・種目別)一覧

発行者	種 目															
	国語		社会				数学	理科	音楽		美術	保健体育	技術家庭		外国語	道徳
	国語	書写	地理	歴史	公民	地図			一般	器楽			技術	家庭		
東京書籍（株）	○	○	○	○	○	○			○				○	○	○	○
大日本図書（株）								○	○				○			
教育図書（株）													○	○		
開隆堂出版（株）												○		○	○	
学校図書（株）							○	○								
（株）三省堂	○	○														
教育出版（株）	○	○	○	○	○		○	○	○	○					○	○
（株）教育芸術社									○	○						
光村図書出版（株）	○	○										○				○
（株）帝国書院			○	○	○	○										
（株）大修館書店												○				
（株）新興出版社啓林館									○							
（株）山川出版社				○												
数研出版（株）							○									
日本文教出版（株）			○	○	○		○					○				○
（株）Gakken												○				○
（株）自由社				○	○											
（株）育鵬社				○	○											
（株）学び舎				○												
令和書籍（株）				○												
あかつき教育図書（株）																○
日本教科書（株）																○
発行者総数	4	4	4	9	6	2	7	5	2	2	3	4	3	3	6	7